

会長のページ 医家芸術展	河野 雅行	3
日州医談 ベンゾジアゼピン系薬剤の長期処方は罪悪か?	山村 善教	4
随 筆 ご馳走について	杉田 幸雄	6
高齢の年男とタブレット	友成 久雄	8
International Social Dance(社交ダンス)のススメ	岩村 威志	10
エコー・リレー(517)	長濱 博幸, 古郷 博紀	12
宮崎グルメ探訪 No.6 そばや 哲心	佐藤潤一郎	13
メディアの目 土呂久鉦害史に刻まれた医学者たち	中山 憲康	15
国公立病院だより(宮崎県立延岡病院)	柳邊 安秀	22
宮崎大学医学部だより(内科学講座 循環体液制御学分野)	鬼塚 久充	24
専門分科医会だより(外科医会)	白尾 一定	25
診療メモ ドライアイについて	荻野 展永	70

あなたできますか?(平成29年度医師国家試験問題より)	14
宮崎県感染症発生動向	16
郡市医師会だより(延岡市医師会, 日向市東臼杵郡医師会)	18
各専門分科医会長会	27
日医インターネットニュースから	28
医師国保組合だより	30
ベストセラー	32
医師協同組合だより	36
理 事 会 日 誌	40
県 医 の 動 き	45
会員の異動・変更報告	46
ドクターバンク情報	49
行 事 予 定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ	72
あ と が き	78

お知らせ 宮崎県医療勤務環境改善支援センター	26
第2回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	35
平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い	38
女性医師の皆様へ	38
医師資格証を持ちましょう	39
クールビズについて	44
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	53
郡市医師会への送付文書	74
案 内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会	35

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品・書〕

サーフィン女子

高校時代の恩師の指導を受け、1年に1点作品作りをしています。

夏らしい書をアクリル板で仕上げました。ハワイの宝と呼ばれ、47歳の若さで亡くなった女性サーファー、レラ・サンがモデルです。美しく、強く生きた彼女の人生にも、逆らわず従わず只々波に身を任せる時間があったかもしれません。

都城市 よし やま とし こ
吉 山 登志子

会長のページ

医家芸術展

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

医師の中には本業の医療以外にも文筆に秀でる、スポーツに秀でるなど様々な才能を持っている方がいらっしゃいます。趣味の域を超え一流になられた方もあり、中でも芸術的活動が多いようです。ひとまとめに芸術と申しまして音楽から絵画、書、写真、茶道等々まであらゆる分野に渡っています。平成12年、時の秦会長が医協全国大会宮崎を主催されたのを記念して、県医会員および会員家族の芸術愛好家による作品を是非展示していただきたいとの思いから、医家芸術展を開催しました。その後毎年継続して今回で19回目になり、毎回百数十点の絵画、写真、書等が出展されます。開催時期は会場決定がくじ引きなので一定しませ

んが、約1週間、県立美術館の展示室を借り切り開催しています。美術館での開催であり雰囲気も良く本格的な展覧会となり、作品が一段と映えて出展者からも好評を得ています。例年盛夏に開催していましたが、本年度は県立美術館改装の都合により平成31年3月開催予定となりました。開催期間中は会員をはじめとして多くの県民の方々にも足を運んでいただいております。観覧者は年々増加しています。私も初回から毎年鑑賞させていただいています。会員の中には毎回出展される熱心な方もいらっしゃいますし、新規で出展される先生方も増えて、年々盛んになってきております。作品の中には、鑑識眼の乏しい私から見ても素晴らしいものが多くみられ、医師にしておくにはもったいない程の作品を出展される先生も多数いらっしゃいます。予算が充分であれば、一般の展覧会と同様に専門家による鑑定、表彰制度まで設けたいところです。将来、協賛を募ってでもそのような形にして欲しいとの意見もあり、一方では、出展することが目的なので作品には差をつけない方がよいとの意見もあります。皆様のご意見は如何でしょうか。現在は絵画、書、写真の3部門のみですが、応募希望があるようならば彫刻、工芸、その他の芸術作品までも、識者をお願いして展示を検討したいと考えております。ちなみに、本誌(日州医事)の表紙は出展作品の中から編集部により選ばせていただいております。従いまして表紙の同じ図柄は一枚もありません。

先生方もストックされている未発表作品を奮って出展されては如何でしょうか。現在は出展作品をお持ちでない方も今から始めれば数年先には思わぬ隠された才能が花開くことになるかも知れません。老後のためにも芸術的な趣味を持つことは人生を豊かにする糧になり有意義であると思われます。写真を撮影するために動き回ったり絵や書を描くのに集中したりと、精神的にも肉体的にも優れた活動であると思われます。尤も、芸術的センスのない私は今のところ鑑賞眼を養うことに専念したいと考えております。

(平成30年 8 月20日)

日州医談



ベンゾジアゼピン系薬剤の長期処方は罪悪か？

副会長 やま 村 よし のり
山 村 善 教

何故ペナルティーを

今年4月の診療報酬改定で全科の医師(恐らく)に共通の論議が巻き起こり、医師の間で寄ると触ると話題になるのはベンゾジアゼピン系(以下ベンゾ系)の抗不安薬や睡眠薬の長期継続処方による減算の件である。ご存知のように、来年4月からベンゾ系薬剤を1年以上同一の用法・用量で継続して処方していると処方料を13点、処方箋料を28点の計41点減算(適正化!)すると改定した。

ちなみに、これらの点数は、かつて7種類以上の多剤処方においては減算と設定した点数と同じである。この時に抱いた疑問は、『我々開業医は、内科医に限らず、高血圧症、甲状腺をはじめとする内分泌疾患や糖尿病、消化器疾患や骨粗鬆症から脳血管疾患や認知症など多くの疾患を合併した患者さんを診療する機会は多く、それぞれにベストと思われる薬を文献や講演会で得た知識を総動員して、副作用や相互作用を考慮しつつ処方を組み立てる作業をしている。たかだか数種類の薬剤の処方よりよほど工夫して処方するのだから、適切な多剤処方ならば、減算ではなく、むしろ加算すべきではないか?』というものであった。合併症の多い患者さんで必要だから多剤処方になるのに、無意味な処方をしていると咎めるかの如き減算をする制度に対して、いまだにこの疑問は払拭されていない。

さて、今回の減算の算定要件の除外規定として『不安もしくは睡眠障害に係わる適切な研修

等を終了した医師が行う場合、または精神科医から抗不安薬等の処方について助言を得ている場合』とある。そこで、本年6月16日に開催された県医師会定例代議員会において宮崎市郡医師会会長の川名隆司代議員から『どのような研修会に出席すれば要件を満足できるのか、また県医師会として研修会を企画する予定はあるのか』との質問が提出された。

県医師会では、『九州厚生局宮崎事務所等に確認し要件を満たす研修会を開催したい』と回答すると共に、現在、年内と来年2月頃の2回、テレビ会議システムを利用して研修会を開催すべく準備を進めている。

何をいまさら、だから今か

ベンゾ系の薬剤では依存性を生じやすい、過量服用して自殺を図る人が増えている、また高齢者が服用すると蓄積しやすく転倒の危険性があり、記憶障害やせん妄をきたしやすいとか、日本ではエチゾラムをはじめとするベンゾ系の処方が他国と比較して多いという理由があるようだ。しかし、薬物の危険性を言うならば、たとえば高血圧症その他の疾患で処方するβブロッカーを服用すると低血糖がマスクされるとか、少量ならば心不全を改善させるが、通常量では心不全を悪化させる可能性があり、また気管支喘息の素因がある患者では発作を誘発する危険性があるし、糖尿病で処方するSU剤(廃れてきているものもあるが)等の薬剤が、単剤もしくは他剤との併用で過量となり低血糖発作を

惹起して医療事故に繋がる危険性があることは如何なものか？ もしベンゾ系の副作用を問題にして、種々の規制をかけるのならば、その前に、もしくは並行してこれらの処方をする医師の資格を明確にすべきではないか？ それをせずに、あえて減算してまでベンゾ系の薬剤の処方の方に制限をかけることに整合性があるとは思えない。

処方量が多いということは効果が確実であることの証である。ベンゾ系や他の睡眠薬の処方日数に30日の制限がかかり、やむを得ずオレキシン受容体拮抗薬スボレキサントやメラトニン受容体作動薬のラメルテオンを処方してみるが患者さんからの反応はあまり芳しくない。とは言うものの、それらのメーカーがベンゾ系の減算話で活気づいているのを見ると苦笑を禁じえない。これらの薬剤の発売時期やベンゾ系の悪評のための減算という事態が重なったのは、最近流行の忖度ではなく医薬品開発の歴史的成果が出た時期が重なっただけだろうと思っ

ている。ちなみに、現在も通院されている95歳になる患者さんは、他院からの紹介で、25年前からエチゾラム0.5mgを毎食後で処方してきて、本人はいたって満足していたが、2016年10月から処方30日制限がかかり、他の薬は60日分処方してもらえるのにと愚痴を聞かされる羽目になった。この患者さんに、「今までの薬は問題があるので中止します」との説明には苦勞すると思っ

精神科医の助言が免罪符になるのか

助言を求めるために精神科医に診療情報提供書を書いても、紹介された医師はスボレキサントやラメルテオンもしくはエスゾピクロンの処方を提示するか、現在の処方を継続することにお墨付きを与えるだけではないだろうか？ 『睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン』では行動療法なども記載されている

が、多忙な精神科の先生方にそこまで係わっていただけるのか？ しかも、この助言を求める作業は毎年繰り返していかなければならないようだ。そうすると無駄な医療費が増加して、割りを食うのは患者のみというおかしな状況を生むだけではないか？

また、多年服用してきた薬剤について、患者自身が副作用などを自覚していないのに、精神科に紹介する理由を何と説明すればトラブルにならないのか？

1年後に古希を迎える医師としての自らの体験を述べると、若い頃は8時間でも10時間でも惰眠を貪っていたが、50歳を過ぎた頃から睡眠時間は徐々に短くなり、最近は5時間くらい眠ると覚醒するようになった。これは、「あなたの人生の残り時間は長くはないので、出来るだけ起きている時間を長くするので有効に活用しなさい」との造物主の計らいかと、ありがたく思っている。

不眠を訴える高齢者に就寝時間を問うと、ほとんどの人が午後9時前には就寝している。これでは午前3～4時頃に覚醒するのは無理もないし、これを不眠症というのは勘違いと言える。

本来なら就寝時間を遅くするか、覚醒時に起床して有意義な時間を過ごすよう勧めると良いのだろうが、無趣味の高齢者を前にしては掛ける言葉に苦勞する。

おわりに

以上、この紙面を借りて愚痴めいた私見を述べたが、もはや長期処方時の減算の決定が覆らないのであれば、会員の方々におかれては県医師会等で企画される『不安もしくは睡眠障害に係わる適切な研修』を受講されて単位取得をしていただきたいと思っている。

時移り 悪の権化か ベンゾ系

過去の処方を 恥じるべきかな

随 筆

ご馳走について

宮崎市 杉田眼科医院 ^{すぎ}杉 ^た田 ^{ゆき}幸 ^お雄

前 置

いまから5～6年前のNHKの朝ドラで『ごちそうさん』というのを放送していたが、主人公の女性は食いしん坊でおまけに作ることも大好きで人に食べさせるのも大好きな女性である。結構面白いドラマであった。

本 題

美味しい食べ物について考えると、その食べ物は人それぞれである。

一流のレストランや一流の料理人が料理した食べ物が美味しいと感じる人間が殆んどである筈である。5つ星の店で食べれば値段も料理の材料も最高のものを使っているから美味しいに決まっている。

つまり先入観で価値を決めているのである。

値段が高いと言うことで、最高の素材で、最高の料理人が作るから美味しいと決め付ける訳で、つまり暗示に踊らされているのである。

私は学生の頃は金も無く何時も空腹であったので、何を食べても美味しかったし感激していたのである。

どんな美味しいものでも満腹するまで食べたら、美味しさを通り越して気分が悪くなる筈である。

そんな時は、もう一度その料理を食べたいという気にならない筈である。

その点『過ぎたるは及ばざるが如し』である。

一流料亭は品数は多いが、一品の量が少なく、

それも小出しに出してくる。

食事を出されてから食べ終わるまでに二時間は掛けるのが、美味しい食べ方である。つまり食べ方にもムードが肝心である。

若い時は質より量であるが年と共に、食が細くなり美味しいものを少しがご馳走である。

最近糖尿病及び予備軍といわれている人間が数百万人もいと言われている。カロリーの高いものを沢山食べその割に運動不足が原因である。

第二次大戦後の食べるものの無い時代は糖尿病なんて無縁の世界であったのが今では数百万人である。

私が大学の眼科医局に入った昭和37年ごろは糖尿病による網膜症は殆ど経験しなかったが最近では糖尿病性網膜症が外来患者さんの3割ぐらいいはあるかも知れない。

今は車社会であるので歩くことが少なく、カロリーが消費出来ないので糖尿病になりやすいのである。

金さえあれば、食べ物は幾らでも買えるし、手に入るのである。

つまりご馳走が仇になっているのである。

美味しいご馳走は、カロリーも高く糖分も多いものが一般的である。

マグロで言えばトロ、つまり霜降りの脂身でカロリーが高い、牛肉にしても霜降りが一番美味である。

そんなことを考えるとご馳走をして貰うという事は、毒を盛られているようなもので、あり

がた迷惑である。

追記 1・・・私は週に一回は回転寿司に食べに行くが、一人で行くことはない。

大抵は連れがいるが、私は小食であるので、幾ら食べても二千円を越すことはない。

好きなものを、ヒラメのえんがわとか、マグロ、アジ、サバ、エビなどであるが一皿三百円までである。

私の連れは女性のことが多いが、女性は美食家が多くて女性の好みは、エビ、カニ、トロ、ウニ、イクラと値の張るものが好きである。

美味しいものを少し食べるのが食通であるが、女性は美味しいものを沢山食べるのが食通と勘違いしているので、食事に誘う時は福沢諭吉先生と別れる覚悟でなければ、とても食事に誘うのは無理である。

たまの休みにホテルや旅館に泊りがけで行く事があるが、観光地には沢山の旅館があり、競争が大変である。他のホテルや旅館に差をつけるには綺麗で安いことも条件になるが、一番の条件は食事が美味しいことである。

お客を呼ぶのも食い気や色気がないと興味を示してくれないのである。

追記 2・・・最近私は味覚障害を起こし、物が食べられなくなった。

最初はアイスクリームまで苦く感じていたのである。そんな訳で大好きなステーキも伊勢海老も本マグロのトロも食べたいという気にならないのである。

私は美食家ではないが、美味しいものを食べるのが楽しみの人生であったのにこれでは日本経済と一緒に先真っ暗である。

但し味覚障害のほうは、気長に治療すれば回復するようなので、それを期待するのみである。

最近分かったことであるが自前で食事する時は美味しく食べられないが、人の奢りの時は味

覚障害も幾分解消するようである。誰か、ご馳走をしてくれ。

ここで川柳

肥えたのは貴方のせいよ

『ご馳走を、して恨まれる、ダイエット』

何を食べても身になる私

『太るなら、美味しく食べて、太りたい』

食事を断られる、彼女はダイエット中である

『ご馳走を、しなくて助かる、ダイエット』

腹減ったなあが一番である

『空腹で、食べた食事が、五つ星』

美味しく食べる秘訣である

『腹がすき、見るもの全て、ご馳走に』

ご馳走を目の前にしては止まりません

『スマートに、になりたい君が、また太り』

これ君のことだよ

『食べ過ぎて、胃薬をのむ、馬鹿な奴』

松尾芭蕉のダイエット

『見るだけで、腹が鳴るなり、法隆寺』

あとがき

年を取ると毎日が日曜日と言う訳であるが、老後の楽しみは食べることが一番であるのに、何を食べても感激が無いのである。

老後は時間を持て余すので、全国あちこちを旅行してまわるのを夢見ている。

旅館などではお客さんに喜んでもらおうと、美味しい料理を用意して迎えてくれるのであるが、味覚障害の為、食べる量が少ない人間としては有難迷惑である。

食べ残せば板前やシェフに悪いと思い無理して食べると、美味しい筈の料理も台無しである。特にコース料理や懐石料理の場合はお手上げである。

悲しいかな我が人生である。

随 筆

高齢の年男とタブレット

西都市 西都病院 ^{とも}友 ^{なり}成 ^{ひさ}久 ^お雄

昨年末、県医師会から今年の年男だからと、新春の随筆を依頼されたが、直ぐにはピンとこなかった。だが自分の年齢を12で割るとちょうど7になり、7回目の年男になっている。還暦の時は自分の歳についていろいろ思いを巡らせたが、12年後の戌年は何も意識はせずに通り過ぎた。

ところで、戌は十二支の11番目で、方角は西北西を示すそうだ。戌はすべてが整い、物事が成就することを表わすから、縁起がいいといわれる。今年は何か「福」を呼び込めるのだろうか。

振り返ると、還暦頃にはパソコンを覚え、エッセイを書くようになった。間もなく初めてのヨーロッパ旅行に行った。いずれも喜ばしいことだった。12年後はというと、うつ病が起こり、間もなく職場も変わった。70代ともなると、ご多分に漏れず、最大の関心事は加齢現象や健康のことである。もの忘れが多くなり、最近は言葉の健忘が顕著になってきた。固有名詞だけでなく、普通名詞、その他にも及んできて、会話で言葉に詰まることがある。妻との間では「アレ、アレ」と発するのが頻回になった。そのうちに健忘失語になるのではないかと、私は

時々不安になる。

もう一つ、軽くない加齢現象は、物事が億劫になったことである。読書をしなくなり、雑誌の「文藝春秋」も内容が難しく感じられる。ところが、週刊誌は一冊を毎週買って読むようになった。やはり記憶力だけでなく、理解力など他の認知機能も低下してきているようだ。長年楽しみでやってきた庭いじりやガーデニングもあまりやらなくなった。身体を動かすのも頭脳を使うのも億劫なのだが、一番の原因は意欲や興味が全般に減退していることだろう。

一方、趣味の囲碁は億劫でない。碁会所に行ったり、テレビでプロの対局を見たりするのは億劫でなく、やや積極的になっている。数年前から絵画への興味が増して、画集や美術の雑誌などをよく見るようになった。印象派の作品など、飾って眺めたいと思う名画の複製を手に入れるのが一番の楽しみである。

ところで、この数年、スマホを買おうか、どうしようかと時々思案していた。職場の若いケースワーカーは二人とも持っていて、私にも勧める。操作を覚えられるだろうか、少々懸念があったが、解らないときは教えるからと

言う。「検索」をしたいのであれば、大きい文字で見られるタブレットがいいと言われ、“au”のショップに行った。そこでもっとも大きい“iPad”を購入することになった。検索をしたり、動画を見るのにはインターネットの環境が必要というので、以前断っていたのを、再度契約することにした。

ゲームの中に囲碁があることを店員が教えてくれた。それを開いてみると、対戦ができるようになっている。思いがけなかったのが、喜んだのだが、その棋力は二段とあり、自分より大分低いのにがっかりした。5級から二段までに調節できるようになっているから、結局、置碁（下手にハンディキャップとして予め石を置かせて対戦する）の練習用ではないか、と失望したのだが、間もなく、再び驚かされた。ソフトを最強の二段にして対局してみると、私よりずっと強いのだ。対（ハンディなしで）では勝負にならない。だからといって下手に石を置くのはしゃくだ。それにしても触れ込みの段より強いソフトを入れているとは、何故だろうと疑う。

しばらく経って、このソフトには2つの機能が付いているのに気づいた。一つは「待った」で、打ち直しができる。もう一つは「ヒント」で、難しい局面でいい手を教えてくれるのだ。どちらも人との対局では禁じられている反則だが、こういう手を使えばソフトに勝つことができるようになっているようである。そういうところが「ゲーム」としている由縁でもあり、魅力でもある。機械とやるゲームは独り遊びだから、何をしても構わないわけだし、やはり勝てば快く、

負ければ悔しく快くない。遊びといっても、勝敗が気になって夢中になるのは、人間の本性なのかなと思う。

私もこれらの「機能」を使ったりしながら対戦を重ねて気がついたのだが、これらの反則の機能も利用の仕方によっては上達に役に立つだろうということである。いろいろな局面で正しい手、よりよい手を意識させ、あるいは教えてくれるのだから。ソフトが私より上手なのはよかったのだ。ただ、年齢からいってこれ以上上達するのは望んでいない。長考の私は人並みに速く打てるようになればいいと思っている。また、定石外れの手を打ってみたり、新奇な布石を試してみたりするのも面白いかもしれない。そういう遊びを挿入しながら楽しめればいいではないか。ちなみに、相手のソフトは考えずに即座に打つから、1局が通常の約半分ぐらいの時間で終わることになり、より多くの対局ができるわけだ。私はこの1か月余り、朝飯前や夜寝る前などにも楽しんでいる始末である。

私がこれを購入して良かったと思うのは碁が家で独りで打てることである。パソコンより小さくて軽いし、座椅子にもたれて、膝の上に乗せてできる。コードも付いていないからどこへでも持っていける。腰痛のある私には楽な姿勢でできるのは大きなメリットである。そして、遠からずリタイアしたとき、退屈しのぎにもっとも役に立つのではないかと希望が出てきた。これが年男の「福」なのかもと思う。

随 筆

International Social Dance
(社交ダンス)のススメ宮崎市 潤和会記念病院 ^{いわ}岩 ^{むら}村 ^{たけ}威 ^し志

社交ダンスというといわゆるチークダンスを想像される方も多いかもしれません。これもダンスではありますがいわゆる社交ダンスの部類に入るとは言えません。テレビ番組の金スマでキンタローの社交ダンスをご覧になった方も多いいと思います。あれが本来の社交ダンス(最近ではボールルームダンスとも言われます)の究極の競技ダンスと考えてもらおうと良いと思います。もちろん彼らのダンスは社交ダンスというより切れのあるスピード感や複雑さから社交ダンスのなかでもスポーツダンスあるいはアスリートダンスという感じで、あの運動量レベルには並大抵の努力では到達不能です。しかしわれわれのやっている社交ダンスレベルでさえも30分のレッスンで一汗かいてしまうほどで結構な運動量があります。われわれが日本で普通にレッスンを受けている社交ダンスの基本ステップは世界共通でinternational social danceと言われていいいます。社交ダンスには大きくスタンダードダンスとラテンダンスとがあります。スタンダードは二人が常時組んで踊ります。皆さんよ

くご存知のワルツ、タンゴやクイックステップ、スローステップなどがあります。一方、ラテンダンスは二人が時々離れて踊りますがルンバ、チャチャチャ、サンバ、パソドブレなどがあります。それぞれ独特のリズムと基本ステップがありそれを覚えて踊れるようになると楽しいものです。われわれのイメージでは欧米では誰でも子供の頃から社交ダンスに慣れ親しんでいて踊れるのかと思いきや、欧米の人たちもチークダンスのようなダンスは踊れるにしても、いわゆる社交ダンスを踊れる人は多くはないようです。

われわれが大学生時代の数十年前、クラブの活動資金稼ぎと女子学生と知り合う機会を作るためにいろいろなクラブ主催のダンスパーティーなるものが学生会館で月に2-3回は開催されていました。そのころダンスレッスンに通いダンスの上手な同級生がいて、彼に手ほどきを受け初歩的なジルバ、マンボ、ブルースなどはなんとか踊れるようになりダンスパーティーに参加していましたが、彼がルンバなどをかっこ良く踊るのを羨ましく見ていたものでした。彼みた

いに踊れたら良いなと思ってはいたものの貧乏学生の私にはレッスンに行くことなどは無理でした。時が流れて医師になり延岡の黒木病院に出向していた時、当時の院長である故黒木建先生が院内にダンスの先生を招いてご自身はもちろんのこと看護師さんたちと一緒に社交ダンスを習われておりました。尊敬していた建先生にすすめられ私も社交ダンスを本格的に習い始めました。同時に妻も社交ダンスを習い始め、延岡出向が終わってからは宮崎で笠井光智先生・要子先生の教室に夫婦でレッスンに通い始めました(両先生は全日本クラスの先生でいろいろな競技会で優勝されていました。光智先生は逝去されましたが、社交ダンスの普及などに貢献したことに対し三笠宮殿下から特別表彰を受けておられ、そのことは社交ダンスの本場イギリスの新聞にも取り上げられました)。それ以来30年以上途切れ途切れながらも夫婦で社交ダンスを続けています。現在は元全日本10ダンスファイナリスト(トップ6組)である東京の安東寿展先生が宮崎にお見えになる際にレッスンを受けています。これがきっかけでダンスビューウという社交ダンス専門誌の今年8月の創刊30周年記念号にダンスが実際役に立った場面を語るという企画の対談に載せていただきました。これも健康維持以外の社交ダンスの効用でしょうか？

社交ダンスをしていたことで、日本国内では

もちろんのこと海外を含め音楽があればダンスをするというようにいろんな場面で気後れすることなくその場を楽しめました。たとえば国際学会において欧米人の多くはそうですが夫婦で参加することが多いので仕事の面だけではなく懇親会ではダンスを通していろいろな国の人と親しく知り合うことができ、言葉より有効な手段であったと思います。特に米国留学中(ネブラスカ州、オマハ市)には社交ダンスをしていたことで、全く知らない人に声をかけられそれがきっかけで友人となり、留学の本来の目的である研究だけでなく現地の人の生活により溶け込みながら家族を含めた留学生生活をenjoyすることができました。社交ダンスをしていたお陰で社交ダンスを知らない人の数倍は現地の人と知り合うことができ現地の人の日常生活を垣間見ることができたと思います。

社交ダンスを始めるのにどの年齢でも遅すぎるといふ時期はありません。音楽があればそれによって踊りたいという人間の本能的な部分はどの人種にでも誰にでもある。そうして体のおもむくままに踊るのは誰でもできることですが、社交ダンスという“世界共通の言葉”を知ることにより、上手・下手は関係なく音楽に合わせて世界中のいろいろな人と語り合える(踊ることができる)ということは素晴らしいことだと思います。Let's dance!

エコー・リレー

(517回)

(南から北へ北から南へ)

宮崎に帰ってきて

都城市 都城市郡医師会病院 こ 郷 ひろ き
古 郷 博 紀

研修医生活が始まり、あっという間に1年が過ぎ、入局の決断を迫られる時期が目の前に来ている。

わたしは宮崎生まれ、宮崎育ちであるが、大学は関西の大学へ進学した。卒業後は関

西に残るか、宮崎へ帰るか、最後まで悩んだが、結果的に宮崎での研修を選んだ。

理由はいろいろあったが、最大の理由は親に何も恩返しができていると感じていなかったからである。ただの自己満足かもしれないが、働く姿を近くで見せることも親孝行のひとつだと思い、宮崎に一旦帰ることに決めた。

宮崎で実際に働き始めると、研修医の仲間はずぐにたくさんできた。宮崎のこの居心地の良さは関西にはなかった。やはりわたしは宮崎の人間だなと実感した。

串間市民病院で研修をさせてもらっている時に執筆依頼の連絡をいただいた。串間市での研修生活は、市民病院宿舎に住みながらの1か月間であり、地域の病院に求められる役割は大学病院とは違っていった。初診で来院した患者に対して、問診、身体診察から鑑別を考え、必要な検査を行い、帰宅可能か、入院か、大病院に紹介するか判断するという、いわば小さい頃に自分がイメージしていた医師の姿であり、地域の総合診療科の先生方から現地のリアルな話を聞くことで感じることは多々あった。専門医制度が変わり、2年目のこの時期に入局を決めなければならないとのことだが、どの科にも興味が湧いてしまう自分としては、もう少し時間の猶予がほしいものである。

〔次回は、小林市の入佐 浩文先生をお願いします〕

マラソンとマッチング

国富町 海老原病院 なが はま ひろ ゆき
長 濱 博 幸

私はスポーツマンではない。3年半前、心臓血管外科を現役引退した。そんな折、「何か好きなことでもするか?」と思っていたところ、妻からの半強制的なお

誘いでジョギングを始めた。初期投資は不要(Tシャツ、短パンで可)、場所代も不要(大淀川沿いの堤防を使用)、時間も自由(懐中電灯があれば、昼夜を問わず可)。妻は青島太平洋マラソンや東京マラソンを完走している先輩である。最初是一緒に走ってアドバイスをいただいた。その後は一人で練習した。大淀川堤防沿いに宮崎商業高校横から、平和台大橋を渡り、宮崎大橋経由で商業高校に戻る、1周5km(正確には4.8km)である。1周30分を2周、3周、4周と徐々に距離を延ばしていった。走っている最中は、無の境地である。仕事のことを忘れ、家族のことも忘れ、俗世間から離れ、ただぼーっと走っている感じである。何も考えてないのが心地よい。幸せに感じる。ただぼーっとひたすら走る。これほど自分に適しているスポーツとは思いつかなかった。その後、一時的なブームに終わらず、2年連続青島太平洋マラソンを完走した。今年もエントリーした。現在4時間40分程度の走力であるが、密かにサブ4を狙ってみたい。更には、東京マラソンやメドックマラソン(ワインを振舞われながらのフルマラソン)を走ってみたい。どうやら、私はこの歳になって、マラソンとマッチングしたようだ。

〔次回は、小林市の坪内 斉志先生をお願いします〕

宮崎グルメ探訪

No.6



そばや 哲心

宮崎市 佐藤小児科 ^さ 佐 ^{とう} 藤 ^{じゅんいちろう} 潤一郎

昭和59年の開店以来、宮崎の人々に長く愛されつづけている名店「そばや 哲心」を皆さんに紹介させていただきます。

哲心の蕎麦は、開店以来、信州産のそば粉を使用しています。はじめて哲心の蕎麦を食べた時、「なんて白くて香りのよい蕎麦なんだろう！」その時の感動は今でも忘れられません。

私にとって哲心での思い出の深いメニューは鴨南蛮蕎麦です。鴨南は、鴨と南蛮(葱)と出し汁が一体となって織りなす香り、味わい、食感、これらのハーモニーを感じる至福の一品です。鴨南を食べる時、私はまずスープを2～3口すすり、次に鴨・葱を1～2個つつ食した後、蕎麦を食べます。「汁蕎麦の蕎麦は秒単位で不味くなる」とは、小さい時よくいいきかせられた言葉です。そこから蕎麦を一気に食べ上げます。蕎麦を食べ終わったら残りの鴨と葱を食べ、最後にもう一度スープをすすり、「今日も鴨南うまかったなあ」と余韻に浸るのです。

最近の哲心では、新しいメニューが続々と創作され、中でも蕎麦にパルミジャーノチーズとオリーブオイルをかけた斬新な「醍醐蕎麦」は全国区となり、その評判を聞きつけ日本全国から「宮崎の哲心」を目指し駆けつける方を多く見受けます。それ以外にも、「もずく蕎麦」や「海幸蕎麦」、「へべす蕎麦」等。哲心オリジナル季節限定蕎麦が充実し、今では指折り数え、季節限定蕎麦を待ち遠しく感じます。

勿論、忘れてはならないのは食後の和菓子。二代目が大宮高校卒業後、京都の老舗和菓子「末富」で修行したその腕を振るいます。定番の「おとなのわらび餅」だけでなく、季節限定のあまおうで作る「苺大福」は言うまでもない逸品です。

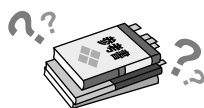
老舗にして進化していく蕎麦屋。初代の哲也さんと二代目の哲さんの更なる融合を楽しみながらこれからも哲心にせっせと通い続けたいです。



そば御膳「極」



「そばや 哲心」小田家の人々



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は27ページ)

1. 睡眠について正しいのはどれか。
 - a 夢を体験するのは浅いノンレム睡眠の時期である。
 - b 深いノンレム睡眠は朝方にかけて減少する。
 - c レム睡眠は緩徐な眼球運動が特徴である。
 - d 乳幼児ではレム睡眠が成人より少ない。
 - e 総睡眠時間は青年期以降一定である。
2. 羊水塞栓症について正しいのはどれか。
 - a 破水前の時期に多い。
 - b 母体の予後は良好である。
 - c 母体の下腹部は板状硬となる。
 - d 播種性血管内凝固(DIC)を伴う。
 - e 妊娠高血圧症候群に合併しやすい。
3. 5歳の男児。頭痛と嘔吐とを主訴に両親に連れられて来院した。1か月前から徐々に歩行がふらつくようになった。1週間前から頭痛と嘔吐が出現した。頭痛は早朝起床時に強いという。嘔吐は噴射状に起こるが、嘔吐後、気分不良はすぐに改善し飲食可能となる。意識は清明。体温 36.2℃。脈拍 92/分、整。血圧 116/78mmHg。呼吸数 20/分。CT検査のできる総合病院への紹介を検討している。
緊急度を判断するために当院でまず行うべき検査はどれか。
 - a 脳波
 - b 眼底検査
 - c 視野検査
 - d 脳脊髄液検査
 - e 頭部エックス線撮影
4. 多数の傷病者が発生した場面でトリアージを行う際、脈拍 108/分、整、呼吸数 14/分で、歩くことはできず、簡単な指示に従うことができる状態の患者に適用すべきトリアージタグはどれか。
 - a 黒タグ
 - b 赤タグ
 - c 黄タグ
 - d 緑タグ
 - e タグなし
5. 8か月の乳児。今朝からの発熱を主訴に母親に連れられて休日診療所に来院した。①体をさすると開眼するが、②すぐに寝てしまう。③皮膚色はピンク色で④ツルゴールは軽度低下している。⑤口唇の乾燥は軽度である。
この児において、重篤な疾患を疑う所見は下線のどれか。
 - a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
 - e ⑤
6. 21歳の男性。左示指の切創を主訴に来院した。飲食店のアルバイトをしている際に受傷した。
適用となる保険はどれか。
 - a 傷害保険
 - b 協会けんぽ
 - c 国民健康保険
 - d 組合管掌健康保険
 - e 労働者災害補償保険
7. 女子の二次性徴のうち最も遅れてみられるのはどれか。
 - a 初経
 - b 子宮発育
 - c 恥毛発生
 - d 乳房発育
 - e 全身の骨端線閉鎖
8. 妊娠中にワクチンが接種可能なのはどれか。
 - a 風疹
 - b 麻疹
 - c 水痘
 - d 流行性耳下腺炎
 - e インフルエンザ
9. 食物繊維の十分な摂取によって発症リスクが低下するのはどれか。
 - a 二次性高血圧
 - b 2型糖尿病
 - c 高尿酸血症
 - d 慢性肺炎
 - e 骨粗鬆症
10. 35歳の男性。ふらつきを主訴に来院した。1年前に仕事上のトラブルをきっかけに退職した。その後は自宅に閉じこもりがちになり、食事は不規則で菓子パンやおにぎりを好んで摂取していた。1週間前から歩行時のふらつきが目立つようになり四肢のしびれ感も訴えるようになったため、心配した家族に付き添われて受診した。意識は清明。脈拍 72/分、整。血圧 124/68mmHg。腱反射は、上肢では減弱し、膝蓋腱反射とアキレス腱反射は消失している。Babinski 徴候は陰性である。四肢筋力は遠位部優位に低下している。両下肢で痛覚過敏、振動覚の低下を認める。
この患者に補充すべきなのはどれか。
 - a 亜鉛
 - b 葉酸
 - c ニコチン酸
 - d ビタミン B₁
 - e ビタミン B₁₂

メディアの目



土呂久鉱害史に刻まれた医学者たち

西日本新聞社 宮崎支局長

なか やま のり やす
中 山 憲 康

水俣病やイタイイタイ病などに次ぐ第四の公害病に指定された宮崎県高千穂町の土呂久鉱害は1971年11月、地元の小学校教諭の告発で社会の明るみに出た。半世紀近く前のことだ。私は3月まで連載した西日本新聞の聞き書きシリーズ「山峡のシンフォニー」（全90回）で、土呂久を後世に書き記すために朝日新聞記者を辞め、被害者支援に力を注いだ記録作家川原一之さんの人生を追った。その取材は、土呂久鉱害史を深く掘り下げる貴重な機会となり、被害者を支えた多くの人たちの存在を知ることになった。被害者を守る支援組織、裁判闘争を物心両面で支えた労働組合やカトリック信者団体など数え切れないが、ここでは医学者に焦点を当ててみたいと思う。

忘れられないのは、初期の公害行政に影響を与えた故倉恒匡徳さんの存在だ。九州大学医学部公衆衛生学の教授だった倉恒さんは翌年1月、誰に頼まれるでもなく、助手2人を連れて土呂久に乗り込んだ。鉱山や土呂久の自然環境、被害住民などを調査して、深刻な被害実態を確信したという。一方、県環境保健部は同じ月の28日、実施していた社会医学的調査の中間報告で、一部を除き「他の住民にヒ素の被害はない」と発表。強引に収束を図ろうとする県

の姿勢に、被害者たちも失望した。ところが4日後、環境保健部長は「被害調査を続ける」と発表した。突然の方針転換に「なぜ」といぶかる声もあった。後年になって、実は中間報告後、倉恒さんはひそかに部長に電話し「もっと慎重にやった方がいい」と忠告していたことが分かった。新聞紙面でも「(中間報告は)判断が甘い。もっと現地の人たちの声を聞くべきだ」と批判した倉恒さんだった。県はその忠告に耳を傾けたのだろう。その後、倉恒さんを社会医学的調査の専門委員長として迎え入れることになる。7月発表の最終報告書は、被害地域で継続した健康診断が必要と指摘した。これも倉恒さんが強く願ったことだ。土呂久地区の住民健診は現在も続き、加齢で体が弱った時に症状が出る被害者を救済するシステムとなった。今年3月にも3人の患者が認定されている。

他にも、ヒ素中毒に顕著な皮膚がんの一種「ボーエン病」を報告して、ヒ素の影響を早くから指摘した県立延岡病院医師の桑原司さん、「患者側に立たないと、医学的調査はできない」と熊本から自主健診で土呂久に通った医師堀田宣之さんなど、被害者救済に尽力した多くの医学者がいた。土呂久鉱害史に貴重な1ページを刻んだ医学者たちに敬意を表したい。

宮崎県感染症発生動向 ～ 7 月 ～

平成30年 7 月 2 日～平成30年 7 月 29 日 (第27週～第30週)

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核19例(男性7例・女性12例)：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3 類：○腸管出血性大腸菌感染症9例：都城(8例)、宮崎市(1例)保健所管内から報告があった。いずれも患者(HUS発症無し)で、0～4歳(7例)、20歳代(1例)、40歳代(1例)である。主な症状として腹痛、水様性下痢、血便、発熱、軟便等がみられ、原因菌のO血清型別報告数は【表3】のとおりである。

4 類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1例：宮崎市保健所管内から報告があった。90歳代で、ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱、下痢、血小板減少、リンパ節腫脹がみられた。

○日本紅斑熱1例：日南保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として発熱、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症1例：日南保健所管内から報告があった。40歳代で、病型は肺炎型である。主な症状として発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎、筋原性酵素異常がみられた。

5 類：○ウイルス性肝炎2例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代、50歳代で、病型はいずれもB型である。主な症状として嘔吐、褐色尿、発熱、肝機能異常、黄疸等がみられた。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。0～4歳で、主な症状として発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加がみられた。原因病原体は不明である。

○梅毒1例：日向保健所管内から報告があった。50歳代男性で、病型は早期顕性梅毒(Ⅰ期)である。主な症状として初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状として発熱、意識障害、呼吸器症状、胸部異常陰影、真菌血症がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、呼吸困難(痙攣性)、易興奮性がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明である。

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	10
その他の結核(結核性胸膜炎、結核性リンパ節炎、頸部リンパ節結核)	2
無症状病原体保有者	5
疑似症患者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
40歳代	1
50歳代	2
60歳代	5
70歳代	4
80歳代	6

表3 腸管出血性大腸菌感染症 O血清型別報告数(例)

O26 (VT1産生)	4
O26 (VT型不明)	2
O111 (VT型不明)	1
O157 (VT1, VT2産生)	1
O157 (VT型不明)	1

表4 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	9
10歳代	7
40歳代	2
50歳代	1

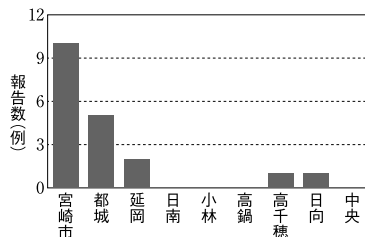


図1 結核 保健所別報告数

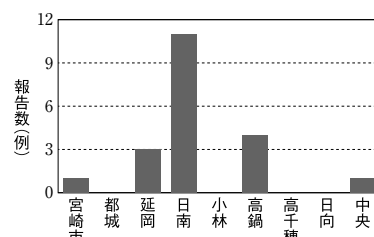


図2 百日咳 保健所別報告数

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	アデノウイルス 2 型	1
	エコーウイルス 9 型	2
	エコーウイルス 18 型	2
	ヒトヘルペスウイルス 6	1
	単純ヘルペスウイルス 1 型	1
	サイトメガロウイルス	1
	インフルエンザウイルス AH3	3
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	1
	コクサッキーウイルス B3 型	1
細菌	EHEC (O157:H7 VT1, 2)	1
	EPEC (O25:HUT)	1
	EPEC (OUT:HUT)	1
	EAggEC (O86a:HNM)	1
	Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1, 7)	1
	Salmonella Typhimurium (O4:i:-)	1
	Salmonella Thompson (O7:k:1, 5)	8
	Salmonella Haelsingborg (O7:m, p, t:-)	1
	Salmonella Bareilly (O7:y:1, 5)	1
	Salmonella Miyazaki (O9:l, z13:1, 7)	1

○百日咳20例(男性7例・女性13例)：保健所別報告数は【図2】、年齢別報告数は【表4】のとおりである。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、ウーブ等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(16例)、不明(4例)である。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,166人(定点あたり98.9)で、前月及び例年の84%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び流行性耳下腺炎である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症及び咽頭結膜熱である。

RSウイルス感染症の報告数は202人(5.8)で前月の約4.0倍、例年の約2.6倍である。延岡(15.8)、中央(10.0)保健所からの報告が多く、1歳以下が全体の約8割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は152人(4.3)で前月の約2.1倍、例年の約0.2倍である。小林(10.7)、延岡(9.8)、日南(7.3)保健所からの報告が多く、6か月～2歳が全体の約7割を占めている。

前月との比較

	2018年7月		2018年6月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	39	0.7	74	1.3	★
RSウイルス感染症	202	5.8	50	1.4	★
咽頭結膜熱	100	2.9	132	3.8	★
※溶レン菌咽頭炎	273	7.8	376	10.7	
感染性胃腸炎	943	26.9	1,301	37.2	
水痘	69	2.0	54	1.5	
手足口病	1,085	31.0	1,404	40.1	
伝染性紅斑	5	0.1	5	0.1	
突発性発疹	136	3.9	155	4.4	
ヘルパンギーナ	152	4.3	72	2.1	
流行性耳下腺炎	98	2.8	148	4.2	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	63	10.5	63	10.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向 (2018年7月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月比88%と減少した。また、昨年7月(2.9)の76%である。

《疾患別》

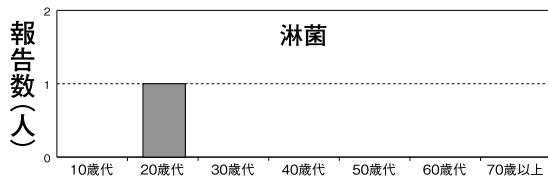
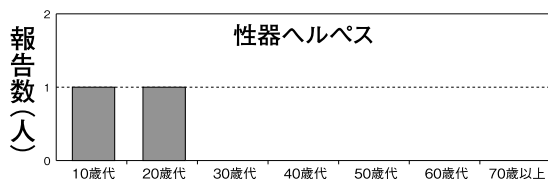
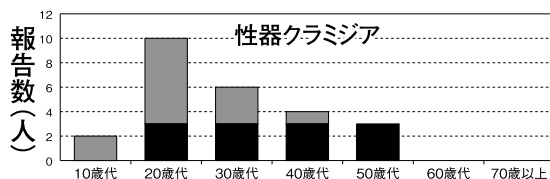
○性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月の1.1倍、昨年7月と同率である。

20歳代が全体の4割を占めている。(男性12人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月の0.4倍、昨年7月の約0.7倍である。(女性2人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数1人(0.08)で、前月、昨年7月の約0.3倍である。(女性1人)



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比100%と同率だった。また、昨年7月(3.0)の81%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約0.9倍、昨年7月の0.8倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、昨年7月と同率である。年齢は70歳以上である。(前月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各都市医師会だより**延 岡 市 医 師 会**会 長 よし だ けん せい
吉 田 建 世

平成30年4月の臨時総会と6月の理事会で、私の3期目の執行部を選任していただきました。今回、理事の宮本義明先生と監事の宮田純一先生が退任され、新しく理事に市原久史先生と監事に高尾雄平先生にご就任いただきました。7月1日現在、医療機関数は82施設で、会員はA会員が78名、B会員が81名、C会員が4名の合計163名です。ここ数年、医療機関数が減少傾向でしたが、昨年からの若い先生方の開業が見られており、少し安堵しております。

当医師会の事業の3つの柱として、まず医師会病院の運営があります。108床の内科系の病院です。外科手術も少ないですが行っております。医師は大学からの派遣に頼っているため、医師不足の状況が続いております。また看護師などのスタッフも不足しています。基本的に会員からの紹介のみの受診ですので、入院患者数もなかなか伸びず、経営は厳しいものがあります。今後の病床機能転換への対応を考えているところです。

次に救急医療ですが、延岡市委託の延岡市夜間急病センターと日曜祝日在宅当番医輪番を行っています。夜間急病センターでは、準夜帯は、内科と小児科が毎日、外科が月～金曜日(土日は在宅診療で)。深夜帯は、内科が水～土曜の4日間、外科は金曜日のみ対応。土曜日の14～18時を内科と外科で診療しています。ここも医師不足のため、今年7月からは九州医療センターと8月からは国立循環器センターの先生に協力をお願いしたところです。

また、消化管出血輪番制を4医療機関で、脳梗塞輪番制を6医療機関で行っています。暫定的な措置として平成21年より行っていますが、医師の疲弊が心配です。宮崎県行政に対し県立延岡病院の医師の充足を強く望みます。

3つめは看護学校運営です。他の医師会立看護学校と同じように、運営資金や看護教員育成の問題等を抱えております。

また今後は、県北の地域包括ケアシステムを、各団体等と協議しながら、構築していかなければなりません。医師会の責務として、課題が山積しているところです。

宮崎県医師会の皆様には、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



延岡市医師会新役員

役員等名簿（任期 平成30年 6 月28日定時総会終結時～2020年 6 月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	吉田 建世	精神科	吉田病院	統括, 渉外, 県医師会常任理事
副 会 長	佐藤 信博	整形外科, 麻酔科, リハビリテーション科	あたご整形外科	医師会病院, 総務
〃	平野 雅弘	内科, 消化器科, 胃腸科	平野消化器科	救急医療, 急病センター, 災害医療, 地域医療, 医療行政, 医事紛争, 庶務
理 事	赤須郁太郎	外科	共立病院	会計, 労務対策, 県医師会理事
〃	山口 哲朗	呼吸器科, 内科	県立延岡病院	学術, 生涯教育, 勤務医部会
〃	高橋 博和	外科, 内科, 整形外科	高橋医院	公衆衛生, 医療保険
〃	今田 真一	内科, 消化器科	いまだ内科・ 消化器科	生活習慣病, 腎臓検診, 糖尿病
〃	金井 一男	整形外科, リハビリテーション科	延岡リハビリテーション 病院	看護学校, 産業医
〃	榎本 雄介	外科, 内科	大貫診療所	介護保険介護福祉, 在宅医療, 広報
〃	丸山洋一郎	小児科, 内科, アレルギー科	丸山クリニック	文化厚生会員福祉, 心臓検診
*	〃	市原 久史	整形外科	健康教育, 看護師研修講座
	〃	大重 明広	産婦人科	学校保健, 医療情報システム
監 事	岡村 公子	内科, 皮膚科	岡村病院	
〃	井手 稔	耳鼻咽喉科, 気管食道科	井手耳鼻咽喉科 クリニック	
*	〃	高尾 雄平	眼科	タカオ眼科
議 長	木下 義美	内科	谷村病院	
副 議 長	川名 修徳	皮膚科	川名皮膚科	

*は新任

各都市医師会だより**日向市東臼杵郡医師会**会長 ちよたんだ 千代反田 すすむ 晋

この度、渡邊康久前会長の後を引き継ぎ、会長に就任致しました。

今回、役員選出規程の見直しにより、理事の半数6名の先生方が交替されました。また、前会長の意向により役員の業務負担の偏りをなくするため、業務の平準化を行い、無理のない体制で業務を遂行していく体制を整えていただきました。お陰をもちまして、新体制も順調にスタートができました。

さて、2025年に向けて地域医療構想が打ち出されるとともに、多職種協働による在宅医療・介護を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築が具現化されてきつつあります。一方、少子高齢化に伴い、労働人口は急激に減少してきており、あらゆる職種で人手不足が心配されています。相変わらずの医療費抑制もあり、医療・介護における効率性の追求と患者満足度とのバランスをとる工夫が今後ますます求められるものと思われます。また、救急医療については、社会情勢の変化に伴い、救急搬送人員が増加傾向にあります。しかし、医師の偏在や救急医療に携わる医師の減少により地方の救急医療、とりわけ2次救急医療は診療体制継続の危機にあります。このほか、想定されている南海トラフ地震に備えての防災対策の見直しも急務となってきています。

当医師会に目を向けますと、近年、事業も多岐にわたり課題も顕在化してきています。特に、看護学校事業における生徒、看護教員の確保、訪問看護事業における看護師の確保が厳しくなっています。また、医師会会員の減少・高齢化もあり、医師会が運営する事業によってはやりくりが厳しい状況が出てきています。

当医師会が果たすべき役割は、限りある医療資源を有効活用すること、医療機関の連携を強化していくこと、保健・医療に関する事業を通して、住民の皆様が安心して暮らすことができるように取り組むことだと考えています。課題は山積していますが、会員の思いをお聞きしながら運営して参りたいと考えています。先ずはできることから取り組んで参りますのでご協力を宜しくお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年 6 月 9 日～2020年定時総会終結時)

役職名	氏 名	診療科	所属医療機関	担 当 業 務
* 会 長	千代反田 晋	内科, 外科 整形外科 リハビリテーション科	千代田病院	会務全般, 渉外 医師会医師連盟委員長 看護学校運営委員会委員長 医療事故審査委員会委員長 人事給与委員会委員長 法制委員会委員長
* 副 会 長	今給黎 承	循環器内科 内科	今給黎医院	総務, 医師会医師連盟副委員長 看護高等専修学校副校長 人事給与委員会委員 医療事故審査委員会委員 看護学校運営委員会委員 法制委員会委員
* ♪	松岡 敬子	心療内科, 内科	松岡内科医院	総務, 会計, 看護研修会 看護高等専修学校校長 看護学校教務委員会委員長 医療事故審査委員会委員 看護学校運営委員会委員 法制委員会・人事給与委員会委員
理 事	三股 俊夫	外科, 内科 整形外科	三股病院	介護保険 特定検診委員会委員長 かかりつけ医委員会委員長
♪	金丸 吉昌	内科, 外科 放射線科	美郷町国民健康保険 西郷病院	県医師会理事 勤務医部会 在宅医療協議会会長
* ♪	尾崎 峯生	眼 科	尾崎眼科	学術生涯教育, 健康教育, 広報 情報システム, ホームページ
* ♪	田代慎二郎	小児科	こどもクリニックたしろ	公衆衛生・感染症, 予防接種 小児保健小児生活習慣病検診委員会委員長
♪	家村 文夫	内科 循環器内科	家村内科	医の倫理向上, 自浄作用活性化, 学校医医療安全対策, 腎臓検診委員会委員長 時間外救急診療対策委員
* ♪	堀之内和代	皮膚科	沼田皮膚科	会員福祉, 法制委員会委員
* ♪	堀 徹也	精神科	協和病院	医療保健, 医療関係者対策 産業医, 看護学校主事 看護学校運営委員会委員
* ♪	吉森 建一	消化器内科 呼吸器内科 循環器内科	吉森医院	在宅サービス運営委員会委員長 成人保健(がん検診)糖尿病対策 人事給与委員会委員
* ♪	中村 剛之	内科, 循環器内科	なかむら内科 循環器内科	時間外救急診療対策委委員長 (在宅当番医, 初期救急診療所) 救急医療, 心臓検診委員会委員長
* 監 事	渡邊 康久	内科	協和病院	
* ♪	古賀 正広	内科, 胃腸科	古賀内科胃腸科	
議 長	大久保史明	外科, 消化器内科 肛門外科	大久保外科胃腸科	
* 副 議 長	和田 徹也	外科, 脳神経外科	和田病院	

*は新任

国公立病院だより

県立延岡病院



やな べ やすひで
柳邊 安秀 院長

当院は昭和23年 9 月に日本医療団延岡病院を買収して開院し、内科外科の42床で船出しました、徐々に診療科や病床を増やしなが

ら発展し、昭和50年には一般394床、結核16床、伝染40

床となっています。平成10年 7 月に現在の新病院が竣工し、11年に感染症病床 4 を含む460床となりました。また平成25年 3 月にヘリポートを併設した救命救急センターを新設し、28年 7 月に呼吸器外科を増設しました。

残念ながら神経内科、眼科、心療内科・精神科は現在も休診中で、放射線科は治療医を週 1 回宮崎大学放射線科から派遣していただいで、読影は外部委託です。また病棟も診療科休診に伴い 1 病棟閉鎖し稼働病床388床で運用中です。(NICU/GCU 9 床、ICU 4 床、HCU12床、救急病棟15床を含む)

当院のカバーする医療圏は日向入郷、延岡西臼杵の 2 つの医療圏の人口約23万人、面積は県土の41%を越える広大な地域で、宮崎、熊本、大分など都市部から1.5～3 時間圏であり、一定の地域完結型医療が求められています。地域医療支援病院の指定を受け昨年度も入院紹介率 87%、逆紹介率98%と地域の病・医院と連携しながら地域の中核病院として、また最後の砦として職員皆志を高くして頑張っています。

当院の果すべき役割、機能を集約すると以下の 4 つになります。①各科の高度医療(特にがん診療、循環器、脳血管疾患、小児医療、産科周産期医療)、②救急医療、③地域災害拠点病院、④第 2 種感染症指定病院

以下簡単に解説します。

- ① 各科の高度医療：民間病院でできない部分をと云うことで、総合病院としての強みを生かして診療科連携による高度医療の診療が可能です。特にがん診療に力を入れて多くのがん患者の診療を行っていますが、地域がん診療拠点病院の指定をとれておらず、県がん診療指定病院にとどまっております今後の問題です。また緊急心カテのできる施設は当院に限られていますので循環器疾患治療にも力を入れています。高齢化社会到来で患者増が予想されますので対応すべく心臓脳血管センター新設工事をしており、来年春のオープンを予定しています。

更に小児の入院、ハイリスク妊婦の分娩管理、NICUも県北で他にない機能となっています。

- ② 救急医療：新救命救急センターができてヘリ搬送・受け入れが便利になりましたが、昨年度宮崎大学救急部から 3 名の救急医が赴任し、大きく進展しました。一次は延岡市・日向市の夜間急病センターで行い二次三次を当院が担う大方針がありますが、急病センターの開設時間の制限もあり深夜帯は当院が担う部分も少なくありません。脳梗塞患者は市内の病院の輪番制で診断・診断後の入院受け入れを延岡地域として行っており、血栓溶解療法時のバックアップを当院脳外科が担当しています。

- ③ 地域災害拠点病院：南海トラフ地震では震度 7、津波14～15m (最短到達時間14分)と想定されています。マニュアル整備やBCP計画策定、電源/水確保(太陽光発電/井戸水確保)、食料や医薬品などの備蓄、防災訓練実施などを行っています。この 8 月には県北でも南海トラフを想定した総務省主催の広域災害訓練が実施されました。津波による当院の職員参集への影響に懸念を抱いていますが、日

頃から地域医療機関や行政などとも連携しておくことが必要だと思っています。

- ④ 第2種感染症指定病院：トリインフルエンザ(H7/H5)やSIRSなど予想される感染症に対し備える必要があります。マニュアル整備や保健所との連携(情報交換/患者搬送訓練など)や抗インフルエンザ薬の備蓄、防御服やガウン、N95マスクの備蓄、装着訓練など日頃から感染対策チームを中心に備え、救急外来や病棟に陰圧室を整備しています。

まとめ：

ご存知のように地域医療計画が定められ、今後各病院は自病院がどの機能を担うのかを決める必要があります。当院は地域の特性をふまえ、地域医療機関との医療連携をより深めて地域での急性期(高度急性期)機能を担っていこうと思っていますが、経営を抜きにしては語れません。7:1看護を維持するべく患者の重症度・看護必要度を維持するため患者確保と共に退・転院促進に努力しています(今年度は30数%を維持しています)。

また、医師をはじめとする人的医療資源の不足は覆い難く、近年の過重労働の一因となっています。多くの病院で苦慮されていると思いますが、地域医療に影響しないような解決策を早急に見つけ出す必要がありますが難題です。今後も各大学などの協力を得て人材確保に努めたいと思っています。

最後に全くの私見ですが、私は小児科医ですので平成14年の延岡赴任以来小児救急に関わってきました。少ない医師で小児救急をやるには基幹病院で開業医/勤務医一体となって、一次から二次、あるいは三次まで一貫して行うのが効率的かつ永続的だと思っています。病院小児科が少ない現状では勤務医負担が大き過ぎ、また基幹病院で行うことで検査・放射線診断や経過観察治療が容易に行えることで医療の質も上がり担当医の心的負担感も患者自身の負担も軽減できると思っています。宮崎県の特に県北の小児医療(小児に限らずですが)が良くなるように努力したいと思っています。



宮崎大学医学部だより

内科学講座 循環体液制御学分野



北村 和雄 教授

当講座は2006年3月より北村和雄教授が三代目教授に就任いたしました。当教室には4つの研究室(高血圧・循環器・消化器・腎臓)があり、それぞれの最近の話題を紹介いたします。

高血圧研究室は北村和雄教授、北俊弘特別教授を中心として、二次性高血圧(原発性アルドステロン症が中心)を含む高血圧、および動脈硬化の診療と研究を行っています。生理活性ペプチドをキーワードとして研究を継続しており、特にアドレノメデュリンを潰瘍性大腸炎とクローン病の治療薬として開発すべく、全国の主要施設の協力を得て医師主導治験を実施しています。同時に、次の展開として持続性アドレノメデュリン誘導体の開発を行っています。また、新しいRA系の因子を探索し、臓器障害における診断薬や治療薬の開発に向けた研究も行っています。

循環器研究室は石川哲憲講師を主任とし、外来・入院患者診療、研究活動、教育指導など多岐にわたる業務を行っています。近年、経皮的冠動脈形成術の件数が増加し、より複雑で難しい冠動脈病変を加療することが増えてまいりました。昨年6月より当院心臓血管外科の先生方と共同で高齢の大動脈弁狭窄症患者さんを対象に経カテーテル的大動脈弁植え込み術(TAVI)を行うようになりました。またカテーテルアブレーション、植え込み型除細動、心臓再同期療法などの不整脈治療や肺高血圧診療も精力的に行っています。現在、大学院生は3名で、日々、精力的に研究活動を行っています。宮崎県における循環器診療・研究の主軸を担うことができるようにこれからも精進していきたいと

思います。

消化器研究室は稲津東彦講師を中心として多岐にわたる活動を行っています。臨床面としては旧1内科、旧2内科の消化管診療体制が「宮崎大学附属病院消化器内科」としてひとつに統合され、それに伴い消化器癌(化学療法、内視鏡治療)、炎症性腸疾患、消化器救急の診療体制が刷新されました。研究面では前述しましたとおり以前より当科で研究を進めてきた生理活性物質アドレノメデュリンが炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)に対して治療効果を示すことが判明し、現在、日本医療研究開発機構(AMED)や厚労省難病研究班の協力のもと、治療抵抗性炎症性腸疾患患者に対する全国多施設共同医師主導治験(第Ⅱ相)が進んでおります。

腎臓研究室は藤元昭一教授を主任として、腎炎・ネフローゼの診断および治療、慢性腎臓病(CKD)の管理とともに啓発活動、最終的には透析医療を展開しています。宮崎県内の主要な透析施設への医師派遣も積極的に行っており、地域医療への貢献は非常に大きいのではないかと考えております。研究面では宮崎県内の透析患者約1,500名を対象としたコホート研究(MID STUDY)や、ミシガン大学と連携したpodocytopathyの研究(皆川明大(大学院生)、西園隆三・菊池正雄(助教)、佐藤祐二(血液浄化療法部准教授)、その他にIgA腎症や血管炎、特定健診データ解析など様々なテーマについて、国内外施設との共同研究も含めて、コンスタントに論文を上梓しています。

このように内科学講座循環体液制御学分野(循環器・腎臓内科、消化器内科)は幅広く内科を学べる内科専門医プログラムの中でも重要な診療科であると考えております。今後、若い医師を育て、かつ、ますます地域医療に貢献できる講座にしていきたいと考えています。今後とも医師会の諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

(医局長 鬼塚 久充)

専 門 分 科 医 会 だ よ り**(宮崎県外科医会)**

しらお かずさだ 会長
白尾 一定 会長

平成30年4月より宮崎県外科医会会長を拝命しました白尾一定です。平成20年田中俊正会長の時から理事を6年、平成26年八尋克三会長の元、副会長を4年間勤めさせてい

ただきました。副会長に宮本耕次先生(新任)、百瀬文教先生(理事より副会長へ)、新任理事に池田拓人先生、監事に迫田耕一郎先生、夏田康則先生が選出されました。

宮崎県外科医会は、平成24年11月より日本臨床外科学会宮崎支部となり、活動の幅が広がりました。毎年2月に東京にて「次世代の臨床外科医のための特別セミナー」が開催され、全国から若手外科医(平成29年より研修医も含む)が集結、わが国の医療体制、保険制度、内視鏡外科手術免許皆伝への道、私が理想とする外科医など、幅広く臨床外科医の魅力を伝える会が開催され、宮崎からも研修医を含む若手医師3名が毎年参加しています。また、国内の外科短期(1か月以内)研修として、「原則40歳以下で日本臨床外科学会の会員歴1年以上かつ日本外科学会専門医」を条件に、全国から20名が選考され、宮崎からは毎年1名推薦しています。消化器外科、肝胆膵外科、移植外科、心臓外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科コースがあり、留学者と研修施設に学会から補助が出ます。短期間の研修ですが、昨年まで宮崎から2名が参加しています。また、日本臨床外科学会の座長を本会から毎年5名推薦しています。

宮崎県外科医会の会員は、平成30年度現在

A会員82名、B会員51名、C会員37名の170名で、平成26年度のA会員90名、B会員56名、C会員40名の186名と比べ、次第に減少してきています。またA会員の平均年齢が67歳、B会員が68歳と高齢化しています。全国的にも外科医の減少は著しく、厚生労働省の2年毎の医師数調査で1994年を1とすると2016年では、医師総数は1.38と増加していますが、外科0.75、小児科0.83、産婦人科0.94と外科の減少が最も大きいと報告されています。外科の中でも専門分科し、専門医制度が始まることで、今後外科医不足は益々深刻になることが予想されます。

外科関連の情報発信の場として、宮崎県外科医会のホームページを新たに作成することにしました。上記に記載した日本臨床外科学会宮崎支部会としての活動やその内容を記載し、若手外科医と臨床外科医との情報交換の場としたいと思っています。早速、宮崎大学外科学講座の中村都英教授、七島篤志教授、宮崎大学卒後臨床センター長の小松弘幸教授にもお願いし、夏期講演会を若手外科医の発表の場としました。卒後5年目以内の若手医師の発表の中から、宮崎県外科医会若手奨励賞を表彰(金一封)します。また、熟練外科医から若手外科医へのメッセージを発表する機会も設けました。秋季講演会には、特別講演会とハンズオンセミナー(今年はPICC)を開催します。

少しでも宮崎県における若手外科医の育成、地域医療に奮闘している臨床外科医に貢献できる本会として発展していきたいと思っています。皆様のご協力よろしくお願いします。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

平成30年度各専門分科医会長会

と き 平成30年 7 月18日(水)

ところ 季節料理かわの（宮崎市）

河野会長から挨拶があり、自己紹介の後、報告・協議に入った。

1. 報 告

1) 宮崎県医師会医学会幹事について

小牧常任理事から、県内13の専門分科医会を以って構成する宮崎県医師会医学会の幹事について、県医師会医学会会則第7条により、専門分科医会から各1名が選出され、去る7月2日に第1回目の役員会を開催したとの報告があった。

2. 協 議

1) 宮崎県医師会医学会副会長1名の推薦について

県医師会医学会会則第7条により、県皮膚科医会長の成田博実先生を推薦することが決定した。

3. その他

1) 2020年九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について

河野会長から、九州医師会連合会総会・医学会等については、2020年に本会が担当県となるため、関連行事の一つである分科会の開催について協力依頼があった。

2) 宮崎県医師会広報委員会からのお願いについて

荒木常任理事から、本会が毎月発行して



いる日州医事について、専門分科医会など等の執筆の協力依頼があった。

出席者

専門分科医会

県内科医会	比嘉利信	会長
県小児科医会	高山修二	会長
県外科医会	白尾一定	会長
県整形外科医会	松本宏一	会長
県皮膚科医会	成田博実	会長
県泌尿器科医会	蓑田國廣	会長
県産婦人科医会	肥後貴史	会長
県眼科医会	柴田 博	会長
県透析医会	藤元昭一	会長
県耳鼻咽喉科医会	坪井康浩	副会長

県医師会

河野会長、濱田副会長、小牧・荒木常任理事

~~~~~  
あなたできますか？（解答）

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| b | d | b | c | b | e | e | e | b | d  |

## 日医インターネットニュースから

### ■消費税補填率データ誤り「大変な怒り」 — 横倉会長 —

厚生労働省の消費税率8%への引き上げに伴う診療報酬の補填状況調査結果に誤りがあった問題で、横倉義武会長は8月1日の記者会見で「大変な怒りを感じている。2014年度改定時に、『消費税率引き上げ分については、しっかり対応する』という方針が示されていた。そして私たちは『しっかりと対応できた』と報告を受けていたが、実際はそういうことが全くなかった。特に急性期の病院を中心に大きな補填不足が出ている」と批判した。

横倉会長は、会内で中医協の議事録を確認するなど、経緯を検証していることを明らかにした。その上で「どこでこういう間違いが起きたのか。まず把握をして、このような間違いが二度と起きないように、対策をどうするか。厚労省には、しっかりと申し入れをするつもりだ」と強調した。

医療機関への補填不足分の対応については「大学病院を中心に、補填不足で経営が苦しいところがある。『どういう形で補填していくのか。再検討していただきたい』と強く申し入れる」と述べた。

日医の医薬税制検討委員会は、控除対象外消費税問題の解決策として「現行の非課税制度を前提として、当局が診療報酬に仕入税額相当額として上乗せしている2.89%相当額を上回る仕入消費税額を負担している場合には、その超過額の税額控除(還付)を認める新たな制度」の実現を提言しており、横倉会長は「これを実現できるかどうか。政治的にも、財務省、厚労省とも詰めていきたい」と話した。

### ●医薬品の役割「誤解されぬよう明確に」

一方、横倉会長は会見で、より適切な医学・医療用語を使用するよう警鐘を鳴らした。フランスで、アルツハイマー治療薬を保険適応外とする動きがあることなどを踏まえた。横倉会長は「例えば医薬品のうち、アルツハイマー型認知症は、その特性から治癒には至らない疾患であり、患者に処方される薬も、症状を和らげたり、重症化の進行を遅くすることを期待されている薬だ。その意味では、特にアルツハイマー

型認知症の重度の患者に対しては『進行抑制薬』もしくは『軽度改善薬』といった表現の方がより好ましい。『治療薬』であると説明するのは不適切ではないか」と指摘した。

その上で「治ると思って保険適応しているのに、治らないなら保険適応から外せ」といった議論が起こることへの懸念を表明しながら「進行を遅らせることが有効な面もある。社会に誤解を与えているところがあるので、(医薬品ごとに)役割を明確にしていっての方が、より理解を得やすいのでは」と問題提起した。

(平成30年8月3日)

### ■東京医科大の女子一律減点、大変遺憾 — 日医が見解 —

日本医師会は8月3日、東京医科大が医学部医学科の一般入試で2011年度以降、女子合格者を全体の3割前後に抑えることを目的に女子受験生の得点を一律に減点していたという報道に対し「事実であれば、入試の段階で男女差別が行われていたことになり、受験生に対する公平性・平等性を欠く行為。大変遺憾」とする見解を表明した。東京医科大による真相究明と、文部科学省の徹底した調査、厳格な対応を求めている。

見解は横倉義武会長名で公表した。女性医師について「出産、子育てなどで離職や休職せざるを得ないケースがあるが、入試の段階で性別のみを理由に調整することは許されない」と指摘。「むしろ女性医師の出産や子育てを前提として、短時間労働の導入や当直の軽減、院内保育施設の整備など、医療現場で女性が働きやすい環境整備を進めることが大事」とした。

日医では、都道府県医師会の協力の下で「男女共同参画フォーラム」を開催したり、日本医師会女性医師支援センターを通じた各種事業により女性医師の活躍を支援しており、今後もその充実に努める方針も示した。

(平成30年8月7日)

## ■医療広告GLでQ & A, 記事風も広告 — 厚労省 —

厚生労働省は、5月に改訂した医療広告ガイドライン(GL)のQ & A(質疑応答集)をまとめ、8月10日付で都道府県などへ事務連絡した。新聞や雑誌に掲載された治療方法に関する記事でも、医療機関が広告料を負担するなどの便宜を図り記事掲載を依頼し、患者を誘引する場合は「記事風広告」として広告に該当することを明示した。

厚労省は昨年成立した改正医療法を受け、関連の検討会で医療に関する広告規制の見直しを議論した。GLはこの議論を踏まえて改訂。改正法は6月1日に施行された。改正法では規制対象を「広告その他の医療を受ける者を誘引するための手段としての表示」に拡大。ただし、患者への正確な情報提供や、患者の選択を支援するため、医療に関する適切な選択が阻害される恐れが少ない場合は幅広い事項の広告を認めている。医療機関のウェブサイトも規制の対象としたが、一定の条件下で広告可能事項の限定を解除した。

### ●専門医、医療広告の扱いを「今後、検討」

今回、事務連絡したQ & Aは、GLの内容に沿う形で構成しており▽広告の対象範囲▽禁止される広告▽広告可能な事項、限定解除▽相談・指導等の方法▽その他—に分け、計79項目を掲載した。

広告の対象範囲では「医療機関主催の患者や地域住民向け講演会の広告は、広告規制の対象か」という質問に「患者の受診を誘引する意図がなければ対象外」と答えた。禁止される広告の関係では「医療機関のウェブサイト上の口コミ情報は、広告規制の対象か」との問いに「患者等の主観・伝聞に基づく治療内容などの体験談は、今回新たに規定された広告禁止事項」と解説している。

広告可能な事項や限定解除の関連事項では「日本専門医機構認定の専門医である旨は広告

可能か」という質問があった。それに対し「広告できない」と答えた上で「ただし、ウェブサイトなど広告可能事項の限定解除要件を満たした場合には、広告可能事項の限定を解除できる」とした。さらに「日本専門医機構認定の専門医である旨の医療広告の取り扱い、今後、検討予定」であることも付記した。

治療内容について「歯を削らない治療」という表現は広告できるが、「痛くない治療」は虚偽・誇大広告の恐れがあるため表現不可能であることを示した。

そのほか「外国語で作成された広告も規制の対象」であることや、広告可能事項の限定解除の要件としてウェブページに記載が求められている事項について「患者が容易に視認できるよう記載することが必要。文字が極端に小さかったり、配色に問題があったり、意図的に情報量を増やして必要事項を見逃す恐れがあると判断できるもの」は、容易に視認できる状態ではないと明記している。(平成30年8月21日)

## ■風疹の届け出数増加で注意喚起 — 厚労省 —

厚生労働省は8月14日付で、風疹の届け出数の増加に伴い注意喚起を呼び掛ける通知を各都道府県に出した。風疹の届け出は、7月23日から8月5日までの期間中に38例あった。厚労省は、特に妊婦を守るため、診療に関わる医療関係者やこれまで風疹にかかったことがない人、予防接種を受けていない人、妊娠を希望する女性などに対する注意喚起を行うよう求めた。

今回、風疹に感染した人の多くは、30～50代の男性だった。この世代の男性は、風疹の抗体価が低い人が2割程度存在していることが分かっている。厚労省は「この時期は、多くの人の往来が見込まれることから、今後、全国的に感染が拡大する可能性がある」としている。

(平成30年8月21日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID: 会員 ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

## 医師国保組合だより

## 平成30年度 宮崎県医師国民健康保険組合第119回通常組合会

と き 平成30年 7 月20日(金)

ところ 宮崎県医師会館

仮議長の内田攻先生からの開会後、議長に原田雄一先生(宮崎市郡医師会支部)、副議長に出水善文先生(都城市北諸県郡医師会支部)を選出し、10名の物故組合員に対し弔意黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶後、議事に入った。平成29年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分についての審議を行い、原案どおり可決承認された。また、任期満了に伴う役員改選について、理事 9 名および監事 2 名が新たに選任された。

## 1. 理事長挨拶

このたびの西日本豪雨災害で被災された死者220名、行方不明者20名の方々に対し、哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。本日の組合会では、平成29年度事業報告・歳入歳出決算をご審議いただくが、一昨年度の単年度赤字額5,000万円から昨年度は7,000万円に膨れ上がっている。これは、被保険者減少による保険料収入減と国庫補助金カットによる歳入減、高齢者支援金及び納付金の歳出増が主な原因に挙げられる。この赤字補填に、当組合では積立金を取り崩して繰入しているが、10年先を見据えると、今後保険料の値上げは避けられないと考える。次に、医師国保組合全体の将来のあり方については、全国統一または健保組合の設立を含めた論議はあるが、当組合では従来どおり県単独での存続を目指している。国に対しては、医療の進

歩による超高額医療は国の事業として対応するようお願いしている。また、被保険者数が数十万人規模の大規模健保組合でも財政難により解散に追い込まれていることから、高齢者支援金等の歯止めを行うことも要望している。今後の展望として、2025年問題は来年度の消費税増税により一段落する。2040年問題に関しては、社会保障の財源となる消費税分が他に回ることがないよう財源確保を要望したい。多難な時代ではあるが、組合員に不利益なことがないよう、これからの組合運営に努めていくのでご協力をお願いしたい。

## 2. 議事の状況

## 1) 平成29年度事業報告について

組合会および理事会、委員会、連絡協議等に関する事項について報告した。

被保険者数に関する事項は、月平均被保険者数を前年度と比較すると、組合員は599名で1名減、家族は1,000名で31名減、従業員は0名となっている。

保険給付に関しては、療養諸費の保険者負担分が29年度は2億3,260万余円で前年度より約1,556万円増となっている。その他の給付は、出産育児一時金が126万余円の減、葬祭費は増減なし、傷病手当金は116万余円の増となっている。また、高額療養費は、2,496万余円で前年度比144万円増となっている。

保健事業の健康診断は、受診率約46%で前年度比1.6%減、特定健診受診率も約37%で前年度を下回った。特定保健指導は対象者43名中の2名が受けられた。

インフルエンザおよび肺炎球菌ワクチン接種補助、低線量ヘリカルCT肺がん検診、歯科健診の受診率は前年度を下回った。脳ドック補助事業および胃・大腸内視鏡検査補助の受診率については、前年度を若干上回った。

健康推進事業「歩こう会」は、ロコモ予防体操も実施し、42名の参加を得た。

以上、平成29年度事業報告について説明し、可決承認された。

## 2) 平成29年度歳入歳出決算について

歳入に関しては、5億7,027万余円で、歳入に占める主な割合は、保険料57.5%、補助金19%、繰越金19.3%、繰入金4%となっている。

保険料については、3億2,812万余円で前年度比572万余円の減、療養給付費等補助金は8,809万余円で前年度比1,606万余円の減となっている。

一方、歳出は5億784万余円で、歳出に占める主な割合は、保険給付費51.8%、後期高齢者支援金17.1%、前期高齢者納付金3.5%、介護納付金9.5%で歳出全体の約82%を占めている。その他、総務費・組合会費8.6%、保健事業費4.3%、共同事業拠出金3.3%となっている。

保険給付費については、療養給付費が2億3,143万余円で前年度比1,551万余円の増、高額療養費は2,496万余円で前年度比144万余円の増となっている。また、後期

高齢者支援金が8,673万余円で前年度比約167万円の増、介護納付金は4,828万余円で前年度比35万余円の増となっている。

歳入歳出差引残額は6,242万8,646円となり、単年度収支では、7,057万余円の赤字決算となった。単年度赤字の要因は、被保険者数の減少と組合員の保険料減額申請数の増加および定率国庫補助率が3.8%削減され、特定被保険者分に係る補助金も削減されたことによる歳入減、また高額レセプト請求等の影響により、療養給付費の保険者負担額の増によるものと説明し、可決承認された。

## 3) 平成29年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、「特別積立金」並びに「給付費支払準備積立金」は、法定額を超過しているため今期の積立は必要なく、歳入歳出差引額の全額を、平成30年度会計へ繰越すことが可決承認された。

## 4) 役員改選について

現役員の任期満了に伴い、組合会において組合員中より選任した結果、理事9名、監事2名が以下のとおり決定し承認された。また、当組合会議員および支部長、顧問、事務職員についても説明し承認された。

【理事】秦 喜八郎(宮崎)、大坪 睦郎(宮崎)、  
濱田 政雄(宮崎)、佐々木 究(宮崎)、  
高村 一志(宮崎)、石川 智信(宮崎)、  
川野啓一郎(宮崎)、佐々木幸二(都城)、  
高橋 政見(児湯)

【監事】棚田 敏文(宮崎)、山路 健(都城)

## 出席組合会議員(議員定数 30名 出席議員17名)

|             |              |
|-------------|--------------|
| 1 番 市 来 能 成 | 10 番 弘 野 修 一 |
| 2 番 内 田 攻   | 11 番 福 永 隆 幸 |
| 3 番 岡 留 敏 秀 | 13 番 出 水 善 文 |
| 4 番 神 尊 敏 彦 | 15 番 大 岐 照 彦 |
| 6 番 田 中 宏 幸 | 16 番 鵜 木 俊 秀 |
| 7 番 谷 口 二 郎 | 21 番 坂 田 師 隣 |
| 8 番 玉 置 昇   | 24 番 岡 村 武 志 |
| 9 番 原 田 雄 一 | 25 番 杉 原 純 次 |
|             | 26 番 石 澤 宗 純 |

## 出席理事 8名

|       |         |
|-------|---------|
| 理 事 長 | 秦 喜八郎   |
| 副理事長  | 大 坪 睦 郎 |
| 副理事長  | 濱 田 政 雄 |
| 常務理事  | 高 橋 政 見 |
| 常務理事  | 佐々木 究   |
| 理 事   | 高 村 一 志 |
| 理 事   | 川 野 啓一郎 |
| 理 事   | 花 田 武 浩 |

## 出席監事 2名

|     |         |
|-----|---------|
| 監 事 | 棚 田 敏 文 |
|-----|---------|

## 8月のベストセラー (宮崎県)

集計：2018年8月1日～8月25日

|                    |           |           |
|--------------------|-----------|-----------|
| 1 大家さんと僕           | 矢 部 太 郎   | 新 潮 社     |
| 2 下町ロケットゴースト       | 池 井 戸 潤   | 小 学 館     |
| 3 夏の雪              | 佐 伯 泰 英   | 文 藝 春 秋   |
| 4 漫画版 君たちはどう生きるか   | 吉 野 源 三 郎 | マガジンハウス   |
| 5 極上の孤独            | 下 重 暁 子   | 幻 冬 舎     |
| 6 ポイズンドーター・ホーリーマザー | 湊 か な え   | 光 文 社     |
| 7 10年後の仕事図鑑        | 堀 江 貴 文   | SBクリエイティブ |
| 8 未来の年表2           | 河 合 雅 司   | 講 談 社     |
| 9 ファーストラヴ          | 島 本 理 生   | 文 藝 春 秋   |
| 10 かみさまは小学5年生      | す み れ     | サンマーク出版   |



# 平成29年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 歳 入 合 計         | 570,272,236 円 |
| 歳 出 合 計         | 507,843,590 円 |
| 歳 入 歳 出 差 引 残 額 | 62,428,646 円  |

## ( 歳 入 )

(単位：円)

| 款           | 項              | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 | 予算現額と収入済額との比較 |
|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|---------------|
| 1 国民健康保険料   | 1 国民健康保険料      | 334,964,000 | 328,122,000 | 328,122,000 | 0     | 0     | △ 6,842,000   |
| 2 一 部 負 担 金 | 1 一 部 負 担 金    | 1,000       | 0           | 0           | 0     | 0     | △ 1,000       |
| 3 国 庫 支 出 金 |                | 85,994,000  | 94,661,546  | 94,661,546  | 0     | 0     | 8,667,546     |
|             | 1 国 庫 負 担 金    | 1,601,000   | 1,954,958   | 1,954,958   | 0     | 0     | 353,958       |
|             | 2 国 庫 補 助 金    | 84,393,000  | 92,706,588  | 92,706,588  | 0     | 0     | 8,313,588     |
| 4 前期高齢者交付金  | 1 前期高齢者交付金     | 2,000       | 0           | 0           | 0     | 0     | △ 2,000       |
| 5 県 支 出 金   | 1 県 補 助 金      | 2,000       | 0           | 0           | 0     | 0     | △ 2,000       |
| 6 共同事業交付金   | 1 共同事業交付金      | 19,000,000  | 13,706,000  | 13,706,000  | 0     | 0     | △ 5,294,000   |
| 7 財 産 収 入   | 1 財産運用収入       | 300,000     | 249,673     | 249,673     | 0     | 0     | △ 50,327      |
| 8 繰 入 金     | 1 繰 入 金        | 23,004,000  | 23,000,000  | 23,000,000  | 0     | 0     | △ 4,000       |
| 9 繰 越 金     | 1 繰 越 金        | 98,000,000  | 110,005,579 | 110,005,579 | 0     | 0     | 12,005,579    |
| 10 諸 収 入    |                | 123,000     | 527,438     | 527,438     | 0     | 0     | 404,438       |
|             | 1 加算金・延滞金及び過怠金 | 1,000       | 0           | 0           | 0     | 0     | △ 1,000       |
|             | 2 預 金 利 子      | 80,000      | 36,500      | 36,500      | 0     | 0     | △ 43,500      |
|             | 3 雑 入          | 42,000      | 490,938     | 490,938     | 0     | 0     | 448,938       |
| 歳 入 合 計     |                | 561,390,000 | 570,272,236 | 570,272,236 | 0     | 0     | 8,882,236     |

## ( 歳 出 )

(単位：円)

| 款           | 項             | 予算現額        | 支出済額        | 翌年度繰越額 | 不用額        | 予算現額と支出済額との比較 |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------|------------|---------------|
| 1 組 合 会 費   | 1 組 合 会 費     | 6,670,000   | 4,488,783   | 0      | 2,181,217  | 2,181,217     |
| 2 総 務 費     | 1 総 務 管 理 費   | 45,161,000  | 39,407,004  | 0      | 5,753,996  | 5,753,996     |
| 3 保 険 給 付 費 |               | 263,155,361 | 263,017,682 | 0      | 137,679    | 137,679       |
|             | 1 療 養 諸 費     | 233,403,361 | 233,312,792 | 0      | 90,569     | 90,569        |
|             | 2 高 額 療 養 費   | 25,001,000  | 24,966,890  | 0      | 34,110     | 34,110        |
|             | 3 移 送 費       | 1,000       | 0           | 0      | 1,000      | 1,000         |
|             | 4 出 産 育 児 諸 費 | 432,000     | 420,000     | 0      | 12,000     | 12,000        |
|             | 5 葬 祭 諸 費     | 1,580,000   | 1,580,000   | 0      | 0          | 0             |
|             | 6 傷 病 諸 費     | 2,738,000   | 2,738,000   | 0      | 0          | 0             |
| 4 後期高齢者支援金等 | 1 後期高齢者支援金等   | 87,907,000  | 86,736,086  | 0      | 1,170,914  | 1,170,914     |
| 5 前期高齢者納付金等 | 1 前期高齢者納付金等   | 18,206,000  | 17,819,374  | 0      | 386,626    | 386,626       |
| 6 老人保健拠出金   | 1 老人保健拠出金     | 3,000       | 1,512       | 0      | 1,488      | 1,488         |
| 7 介護納付金     | 1 介護納付金       | 49,200,000  | 48,283,123  | 0      | 916,877    | 916,877       |
| 8 共同事業拠出金等  |               | 20,328,000  | 18,162,000  | 0      | 2,166,000  | 2,166,000     |
|             | 1 共同事業拠出金     | 19,062,000  | 16,896,000  | 0      | 2,166,000  | 2,166,000     |
|             | 1 共同事業負担金     | 1,266,000   | 1,266,000   | 0      | 0          | 0             |
| 9 保 健 事 業 費 |               | 25,547,173  | 21,635,775  | 0      | 3,911,398  | 3,911,398     |
|             | 1 特定健康診査等事業費  | 2,947,173   | 2,849,609   | 0      | 97,564     | 97,564        |
|             | 2 保 健 事 業 費   | 22,600,000  | 18,786,166  | 0      | 3,813,834  | 3,813,834     |
| 10 積 立 金    | 1 積 立 金       | 5,000       | 0           | 0      | 5,000      | 5,000         |
| 11 組 合 債 費  | 1 組 合 債 費     | 1,000       | 0           | 0      | 1,000      | 1,000         |
| 12 諸 支 出 金  | 1 償還金及び還付加算金  | 8,293,251   | 8,292,251   | 0      | 1,000      | 1,000         |
| 13 予 備 費    | 1 予 備 費       | 36,913,215  | 0           | 0      | 36,913,215 | 36,913,215    |
| 歳 出 合 計     |               | 561,390,000 | 507,843,590 | 0      | 53,546,410 | 53,546,410    |

## 宮崎県医師国民健康保険組合の役員について

理事会において互選した結果、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

任期：2018年(平成30年) 7月20日～2020年の通常組合会終結時まで

|                    |       |     |       |
|--------------------|-------|-----|-------|
| 理 事 長              | 秦 喜八郎 | 理 事 | 佐々木幸二 |
| 副理事長               | 大坪 睦郎 | 理 事 | 高村 一志 |
| 副理事長               | 濱田 政雄 | 理 事 | 石川 智信 |
| 常務理事               | 高橋 政見 | 理 事 | 川野啓一郎 |
| 常務理事<br>(法令遵守担当理事) | 佐々木 究 | 監 事 | 棚田 敏文 |
|                    |       | 監 事 | 山路 健  |

## 被保険者証の一斉更新について

医師国保組合の被保険者証を下記のとおり一斉更新いたします。

記

- 1 新しい被保険者証は、平成30年10月1日から2年間使用できます。
- 2 9月下旬に組合員宛に簡易書留にてお届けします。
- 3 記載事項に誤りや変更等がありましたら、当組合までご連絡ください。
- 4 お手元にお持ちの有効期限が平成30年9月30日までの被保険者証は、同封の返信用封筒にてご家族全員分をまとめて返還してください。  
※ご返還の際には、被保険者証(群青色)にハサミを入れてください。

～ お 願 い ～

被保険者証をカード化してから紛失が増加しております。  
大切な個人情報が記載されておりますので、管理には十分にご配慮ください。

## 日曜日の集団健診について

日曜日の集団健診を宮崎市郡医師会成人病検診センターで実施中です。予約は当組合までお電話ください。対象者には、健康診断個人票をお送りしております。

|       |               |              |                         |
|-------|---------------|--------------|-------------------------|
| 平成30年 | 10月21日(第3日曜日) |              | 定員各30名<br>(※子宮頸がん検診は不可) |
| 平成31年 | 1月20日(第3日曜日)  | 2月17日(第3日曜日) |                         |
|       | 2月3日(第1日曜日)   | 3月3日(第1日曜日)  |                         |

## 健康保険適用除外申請の手続きについて

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※ 各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

## ご案内

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。

ぜひ会員の先生方お誘い合わせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は9月中にお送りいたします。

と き 平成 30 年 11 月 3 日 (土・祝)

ところ ハイビスカスゴルフクラブ

宮崎市佐土原町大字下田島 21085-1

(担当 総務課)

## お知らせ

## 第2回生命を見つめるフォト&エッセー

## コンテスト概要

### 〈日程〉

【募集締切】

2018年10月4日(木) 必着

【入賞者発表】

2019年2月(予定)

【表彰式／記念パーティー】

2019年2月(予定)

【受賞作品新聞紙面掲載】

2019年3月(予定)

〈部門〉

フォト部門 エッセー部門

〈公式ホームページ〉

<http://inochi-photo-essay.com>

〈主催〉

日本医師会，読売新聞社

〈お問い合わせ〉

03-3216-8606 (日本医師会)



**医師協同組合だより****宮崎県医師協同組合 第34回通常総代会 理事会**

と き 平成30年6月16日(土)

ところ 県 医 師 会 館

吉田副理事長の開会宣言後、議長選任を諮ったところ、松本英裕議長が選任された。松本議長から、総代の定数及び出席総代と委任状等による出席の確認を行い、定款に基づき通常総代会の成立を宣言した。

続いて、富田理事長挨拶の後、議事に入り、総代会に上程された6議案についての審議が行われ、議長採決の結果、議案第1号から6号までの議案全てについて、賛成全員で承認可決された。

**議案第1号 平成29年度事業報告、決算及び剰余金処分案の承認を求める件**

平成29年度事業報告について、橋口専務理事から説明が行われた。

(要旨)共同購買事業は、書籍部門では29年度は診療報酬改定がなく、薬価点数表等の900万円の売上減があったが、医療機器等の販売が好調であり、全体では2.5億円の取扱高となり、前年度比99%とほぼ予定した実績となった。

保険事業は、損害保険手数料収入6,000万円、前年度比99.9%、生命保険手数料収入1,350万円、前年度比103.3%となった。

カード取扱事業は、メディカルMCカードの登録枚数、利用件数、総売上金額ともに前年度実績を上回ったが、平成28年6月からのカード年会費無料化に伴う手数料負担があり、手数料収入は1,350万円、前年度比

99.6%となり、前年度実績をやや下回った。

斡旋・集金事業では、手数料収入は1,200万円で、前年度比122.7%となった。ドクターバンク事業については、男性医師6名、女性医師1名、合計7名の斡旋が成立した。

教育情報事業については、医療安全対策セミナーを2回、医療メディエーター養成研修会を3回(導入編1回、基礎編2回)開催した。医療機関経営セミナーは、日医今村副会長に医療法人の事業承継税制についての講演をいただいた。奥様医業経営塾は、税理士、社保労務士、司法書士、ファイナンシャルプランナーを講師として、税務・労務・承継・相続等の4科目(3講座)を開催した。

引き続き決算については、立元副理事長から、財産目録、貸借対照表、損益計算書について、資産合計524,321,538円、純資産合計453,867,547円、事業収益合計353,557,151円、当期純利益26,641,804円等の説明の後、剰余金処分案について説明が行われ、次いで赤須監事から、監査報告が行われた。

**議案第2号 平成30年度事業計画及び収支予算案の承認を求める件**

立元副理事長から事業計画、橋口専務理事から収支予算案の説明が行われた。

**議案第3号 借入金残高最高限度額決定の件****議案第4号 役員報酬決定の件****議案第5号 役員退任慰労金決定の件**

上記3議案は一括審議され、立元副理事長から、議案第3号については、借入金額の限度額を1,000万円、議案第4号については、役員報酬を予算の範囲内で理事299万円、監事16万円、議案第5号については、役員退任慰労金規程に基づき、任期満了に伴う退任役員に慰労金を支給したい旨の説明が行われた。

#### 議案第6号 役員(理事・監事)改選の件

富田理事長より、次期役員定数を理事8人、監事2人とするのが提案され、承認された

後、選挙方法は指名推選、選考委員の選出方法は議長一任となり、松本議長から、選考委員は出席総代全員にお願いされ、理事に河野雅行・山村善教・吉田建世・小牧斎・石川智信・瀬ノ口洋史・中山健・玉置昇理事、監事には桑原正知・宮田純一監事が指名され、全員が当選となった。

最後に、富田理事長から謝辞があり、松本議長が閉会を宣言し、第34回通常総代会を終了した。

#### 出席総代(49名)

|         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 川 名 隆 司 | 立 元 祐 保 | 伊 達 晴 彦 | 坂 田 師 隣 |
| 市 来 能 成 | 小 牧 齋   | 久保田 秀 紀 | 松 本 英 裕 |
| 牛 谷 義 秀 | 石 川 智 信 | 瀬ノ口 洋 史 | 黒 木 重 晶 |
| 尾 田 朋 樹 | 川 野 啓一郎 | 佐々木 幸 二 | 富 田 雄 二 |
| 田 中 俊 正 | 佐々木 究   | 高 城 健 司 | 中 村 彰 伸 |
| 中 山 健   | 田 中 宏 幸 | 吉 田 建 世 | 河 野 秀 一 |
| 原 田 一 道 | 玉 置 昇   | 宮 田 純 一 | 内 村 利 博 |
| 原 田 雄 一 | 山 下 政 紀 | 高 橋 博 和 | 内 村 大 介 |
| 済 陽 英 道 | 高 山 和 久 | 千代反田 晋  | 吉 村 雄 樹 |
| 河 野 雅 行 | 篠 原 立 大 | 今給黎 承   | 植 松 昌 俊 |
| 濱 田 政 雄 | 橋 口 典 久 | 松 岡 敬 子 |         |
| 山 村 善 教 | 田 口 利 文 | 三 股 俊 夫 |         |
| 高 村 一 志 | 長 倉 穂 積 | 永 友 和 之 |         |

#### 出席監事(1名)

赤 須 巖

引き続き、次期役員に指名・当選された理事8名、監事1名の出席により、宮崎県医師協同組合理事会が開催され、理事会に上程された議案についての審議が行われ、賛成全員で承認可決された。

#### 議案第1号 代表理事、副理事長及び専務理事選任の件

河野雅行代表理事(理事長)、山村善教・吉田建世副理事長、小牧斎専務理事がそれぞれ選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

## お知らせ

## 平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

|                                                  |                                                 |                                               |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 宮崎学園短期大学<br>(宮崎市)                                | 宮崎医療管理専門学校<br>(宮崎市)                             | 都城コアカレッジ<br>(都城市)                             |
| 就職希望者24名<br>(女24名)                               | 就職希望者23名<br>(女23名)                              | 就職希望者6名<br>(女6名)                              |
| 連絡先：TEL0985-85-0146<br>宮崎市清武町加納丙1415<br>担当：田村 広美 | 連絡先：TEL0985-86-2271<br>宮崎市田野町甲1556-1<br>担当：福元 進 | 連絡先：TEL0986-38-4811<br>都城市吉尾町77-8<br>担当：吉原真由美 |

### 女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に  
マタニティ白衣を貸し出しています～



心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を  
2枚セット(無料)で貸し出します。

どうぞお気軽にご利用ください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ  
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>)

をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本・野尻

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

# 医師資格証を持ちましょう

「医師資格証」はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は  
5年ごとの  
更新になりました

申請方法と  
受け取り方法が  
変更になりました

年間利用料が  
廃止されました

2年ごとの  
オンライン更新が  
不要になりました

## 診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

### 医師資格証 ご利用シーン



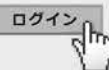
地域医療連携内での  
診療情報提供書への  
HPKI電子署名  
(平成28年診療報酬改定におい  
て加算を算定することが可能)

電子処方せん発行時の  
HPKI電子署名に使用



日医生涯教育制度、認定  
医、かかりつけ医など各  
種研修時の受講履歴、  
取得単位管理に使用

地域医療連携システムへ  
のログイン認証



医師資格証ポータル  
サイトの利用



治験データへの  
HPKI電子署名



文書交換サービス  
の利用



身分証としての活用  
JAL DOCTOR登録制度  
などへの任意登録に使用  
する  
※医師資格証を身分証として活用で  
きるように各企業、行政機関に働き  
かけを行なっています



日本医師会 電子認証センター

Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmaca.med.or.jp/>





平成30年7月3日(火)第9回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 7/11(水)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる監査で、荒木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 7/26(木)・27(金)(宮崎市)厚生労働省並びに九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の特定共同指導の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる特定共同指導で、荒木常任理事(26日午前)、石川常任理事(26日午後)、岩村理事(27日午後)を立会人として派遣することが承認された。

3. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

20年以上産科医療に従事し、地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた医師に贈られる表彰で、1名を推薦することが承認された。

4. 九州医師会連合会会員数等について

7月1日に九医連の担当県が交代(福岡県→鹿児島県)して最初に行われる調査で、九医連会則に拠り、九医連常任委員に河野会長、委員に濱田・山村副会長、吉田・小

牧・荒木・池井常任理事、鯨島議長を選出することが承認された。また、郡市医師会所在地及び会員数等については、事務局で確認の上、報告することとなった。

5. 日本医師会医療秘書認定試験委員会について

日医医療秘書認定試験の円滑な実施及び試験結果の分析等を行う委員会で、日医担当理事から河野会長に委員選出の依頼があったことから、池井常任理事を委員として推薦することが承認された。

6. 九州学校検診協議会幹事及び専門委員の推薦について

県医師会の役員改選等に伴う確認依頼があり、幹事及び専門委員として、心臓部門は高木純一先生、腎臓部門は宮田純一先生、小児生活習慣病部門は澤田浩武先生、運動器部門は高村常任理事・帖佐理事(又は山口奈美先生)を推薦することが承認された。

7. 10/27(土)(鹿児島)第49回全国学校保健・学校医大会の開催について

「子どもは国の宝。次代を担う子ども達の健やかな成長を願って～学校医の果たす社会的意義～」をテーマに鹿児島市で開催される全国大会で、河野会長と高村常任理事が出席することが承認された。

8. 「患者の意向を尊重した意思決定のための指導者研修会」の実施及び受講者の推薦について

人生の最終段階における患者の相談に適切に対応できる体制の強化を目的として開催される指導者研修会で、宮崎市郡医師会病院の内藤明美先生を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6月末日現在の会員数について

3. 6/30(土)(福岡)全国有床診療所協議会九州ブロック役員会について



4. 6/29(金)(県庁) DV被害者保護支援ネットワーク会議について
5. 7/3(火)(県医) 治験審査委員会について
6. 6/23(土)(シーガイア) 県専門研修合同説明会について
7. 7/1(日)(大阪) レジナビフェアについて
8. 6/30(土)(県医) 産業医部会総会・研修会について
9. 6/25(月)(県医) 宮崎市郡医師会予防接種勉強会について
10. その他
  - ①常任理事協議会及び全理事協議会について
  - ②宮崎県医師会職員永年勤続表彰(勤続年数20年以上:湯浅和代総務課課長補佐)について

平成30年7月17日(火)第10回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 平成30年7月豪雨による被災医療機関等に対する支援について  
被災した医療機関及び地元医師会を支援するために日医が支援金の提供を呼びかけるもので、県内全医療機関にファックスすること及び県医師会のメーリングリストで協力をお願いすることが承認された。
2. 7/31(火)(宮観ホテル)平成30年度県福祉保健部・病院局との意見交換会の開催について  
県行政主催の意見交換会で、当日開催される諸会議及び進行の最終確認が行われた。
3. 本会外の役員等の推薦について
  - ①宮崎県薬事審議会委員の推薦について  
→薬事衛生思想の普及向上や医薬品等の取扱いの適正化を図ることを目的に設置されている審議会で、山村副会長を推薦することが承認された。
4. 後援・共催名義等使用許可について
  - ①9/1(土)(都城市)「第26回都城緩和ケア研究会」名義後援のお願いについて  
→「伝え合おう、学び合おう～地域での緩和ケアのつながりを～」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。
  - ②9/9(日)(宮崎市民プラザ)創立20周年記念事業「人生フルーツ」上映会・記念講演の名義後援のお願いについて  
→高齢の建築家夫婦の物語映画「人生フルーツ」の上映と、主宰者の市原美穂理事長の講演「地域の中で暮らし、地域で看取る～かあさんの家の実践を通して～」からなる記念事業で、名義後援を行うことが承認された。
  - ③10/28(日)(宮日会館)“いい皮膚の日”に合わせた県民向け講演会の名義後援について  
→「癌から身を守るためいろいろな発癌原因を知っておこう～予防に勝る治療無し～」を演題に開催する講演会で、名義後援を行うことが承認された。
5. 平成30年度公衆衛生事業功労者表彰(日本公衆衛生協会会長表彰)の推薦について  
公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動を続けてこられた方を表彰するもので、各郡市医師会に照会の結果、3名を推薦することが承認された。
6. 平成30年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について  
多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著である方を表彰するもので、各郡市医師会に照会の結果、3名を推薦することが承認された。
7. 日本医師会会内委員会委員の推薦について  
日医が設置する委員会の内、25の委員会に各ブロック1名の推薦枠があることから、本会から公衆衛生委員会に吉田常任理事、医療IT委員会に荒木常任理事、勤務

医委員会に金丸常任理事、救急災害医療対策委員会に佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

また、理事を含めた役員にメールで再度意向確認を行うこととなった。

#### 8. 平成30年7月豪雨災害における日本医師会災害医療チーム(JMAT)派遣について

7月13日から14日間を目途に、岡山県倉敷市を中心とした各救護所にJMATの派遣を求めるもので、日程の関係もあるので公募は行わず、宮崎市郡医師会病院にJMATの編成をお願いすることが承認された。

#### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 7/6(金)(県庁)県医療介護推進協議会について
3. 7/6(金)(県庁)県医療審議会について
4. 7/7(土)(鹿児島)九医連常任委員会について
5. 7/8(日)(鹿児島)九医連常任委員会視察について
6. 7/9(月)(県庁)県地方独立行政法人評価委員会について
7. 7/11(水)(支払基金)支払基金幹事会について
8. 7/11(水)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会7月例会並びに特別講演会について
9. 7/13(金)(沖縄)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同協議会について
10. 7/12(木)(県庁)県国保運営協議会について
11. 7/5(木)(みやざきNPO協働支援センター)みやざき子育てサポートセンターサポート会員養成講座について
12. 7/11(水)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について
13. 7/11(水)(県医)広報委員会について
14. 7/4(水)(県医)第1回外国人医療対策会議について

15. 7/6(金)(県電ホール)東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議について
16. 7/15(日)(東京)レジナビフェアについて
17. 7/4(水)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について
18. 7/7(土)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・研修会について
19. 7/10(火)(第一宮銀ビル)県後期高齢者医療広域連合運営懇話会について
20. その他

- ① 7/9(宮崎市保健所)県央地区における小児救急医療の確保に関する検討会について

#### 医師連盟関係

#### (報告事項)

1. 7/7(土)(鹿児島)九州医連連絡会常任執行委員会について
2. 7/3(火)(日医)日本医師連盟執行委員会について
3. 7/14(土)(宮崎空港ビル)衆議院議員橋本岳先生を囲む懇談会について
4. 平成31年度国・県に対する要望について

平成30年7月31日(火)第5回全理事協議会

#### 医師会関係

#### (議決事項)

1. 会費減免申請について
 

疾病による会費減免1名(日医・県医)と高齢による会費減免2名(日医及び県医1名、県医のみ1名)が承認された。
2. 業務委託について
  - ①平成30年度自殺対策に係る人材育成研修事業の業務委託契約について
 

→医療の現場における自殺対策の強化を図ることを目的に、医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契

約を締結することが承認された。

②健やかな心と体を育む健康教育推進事業について

→児童生徒、教職員及び保護者等を対象に、10代の人工妊娠中絶、性感染症、性の逸脱行動等の諸問題を解決する専門医の相談事業等で、契約を締結することが承認された。

3. 宮崎県医師会の各種委員会について

本会に設置される30の委員会の内、すでに確定している3つの委員会を除く27の委員会について確認作業が行われ、定款第57条及び県医師会委員会規程に基づき、委員構成及び委員長・副委員長が決定された。

4. 本会外の役員等の推薦について

①九州医師会連合会監事候補者の推薦について

→平成30年7月から鹿児島県医師会が担当する九州医師会連合会の監事に、山村副会長を推薦することが承認された。

5. 後援・共催名義等使用許可について

①10/6(土)(KITEN)「目の健康講座」後援(名義使用)許可のお願いについて

→「目の愛護デー」に関連して、眼疾患に対する知識の普及と早期発見・治療意識・視覚の質の向上を図ることを目的とする県民向けの健康講座で、名義後援を行うことが承認された。

②11/29(木)(ホテルニューウェルシティ)

「医療事務担当者向け健康保険事務説明会」の開催について

→医療事務担当者の健康保険給付及びレセプト請求事務の知識と加入者サービスの質の向上を図ることを目的とする説明会で、名義後援を行うことが承認された。

6. 九州医師会連合会第372回常任委員会並びに第115回定例委員総会の開催について

九医連の予算及び事業計画等を審議する定例委員総会で、河野会長(常任委員)を含む8名の委員の出欠を確認すると共に、役員が常任委員会の議題を提出する場合には事務局に申し出ることが承認された。

7. 平成30年度第1回都道府県医師会長協議会の開催について

河野会長が出席することが承認された。また役員で提出議題がある場合は事務局に申し出ることとし、その取扱いは河野会長に一任することとなった。

8. 8/9(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会について

6 医療機関を対象とする新規個別指導で、川野理事を立会人として派遣することが承認された。

9. 8/23(木)(延岡市)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会について

1 医療機関を対象とする個別指導で、赤須理事を立会人として派遣することが承認された。

10. 平成30年度精神保健福祉事業功労者知事表彰被表彰者の推薦について

精神保健福祉事業について業績をあげ、その功績が顕著と認められる個人及び団体に贈られる表彰で、郡市医師会に照会した結果、1名を推薦することが承認された。

11. 母体保護法指定医師の新規申請及び研修機関等の申請について

母体保護法指定医師審査委員会の答申を受け、検討の結果、指定医師2名、研修機関2医療機関、研修連携施設2医療機関を指定することが承認された。

12. 8・9月の行事予定について

8月の追加行事について確認が行われた。

13. その他

## ①役員会の持ち方について

→県医師会の役員会について、原則、常任理事協議会を、第1・第3火曜日、全理事協議会を月の最終火曜日に開催する方針を報告した後、役員会の円滑な進行のため、8月から会議前日にその時点の資料を添付して案内することが承認された。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 7/24(火)(東京)日医役員就任披露パーティーについて
3. 7/19(木)(JA-AZM)新規保険医療機関への説明会について
4. 7/25(水)(県庁)県自殺対策推進協議会について
5. 資金運用について
6. 7/18(水)(季節料理かわの)各専門分科医会長会について
7. 7/23(月)(県医)広報委員会について
8. 7/26(木)・27(金)(宮崎市)社会保険医療担当者の特定共同指導について
9. 7/28(土)(ニューウェルシティ宮崎)第2回ふれあいパーティーについて
10. 7/27(金)(県庁)県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会について
11. 7/22(日)(福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部 役員会について

12. 7/23(月)(県庁)宮崎県糖尿病・慢性腎臓病(CKD)対策検討会について
13. 6/29(金)(宮崎少年鑑別所)宮崎少年鑑別所視察委員会について
14. 7/19(木)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について
15. 6/27(水)・7/25(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
16. 7/14(土)(県医)平成30年度労災部会総会・合同学会について
17. 7/28(土)・29(日)(山口)全国有床診療所連絡協議会総会について
18. 6/29(金)(県医)勤務医部会総会・前期講演会について
19. 7/17(火)(県医)母体保護法指定医師審査委員会について
20. 7/19(木)(県医)妊婦健診等に関する県との打ち合わせについて

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 8/25(土)(鹿児島)九州医連連絡会第19回執行委員会の開催について  
河野委員長、濱田・山村・吉田・小牧常任執行委員が出席することが承認された。

## (報告事項)

1. 7/24(火)(日医)日医連執行委員会について
2. 7/20(金)(宮観ホテル)自民党県連 国・県に対する要望ヒアリングについて

## お知らせ

## クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成30年5月1日より10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 県 医 の 動 き

(8月)

|          |                                                                                                                                         |    |                                                                                                                                           |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1        | 生活習慣病検診各部長連絡協議会(会長他)<br>若手記者と広報委員会との懇談会(会長他)                                                                                            | 21 | 社会保険医療担当者の監査(川野理事)<br>医協打合せ会(吉田副理事長他)<br>第12回常任理事協議会(会長他)                                                                                 |
| 3        | 県国保連合会保健事業支援・評価委員会<br>(金丸常任理事)                                                                                                          | 22 | 広報委員会(荒木常任理事他)                                                                                                                            |
| 4        | 大規模地震時医療活動訓練(佐々木常任理事)<br>県プライマリ・ケア研究会 世話人会・総会・<br>研修会(会長他)                                                                              | 23 | (延岡市)社会保険医療担当者の個別指導<br>(赤須理事)                                                                                                             |
| 4<br>5   | 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会<br>(石川常任理事)                                                                                                         | 24 | 保育事業養成講座(荒木常任理事)                                                                                                                          |
| 6        | 県内科医会理事会(金丸常任理事)<br>臨床検査精度管理調査インターネット回答<br>方法に関する説明会(TV会議)                                                                              | 25 | 在宅医療協議会役員会(石川常任理事他)<br>在宅医療協議会総会・研修会<br>(石川常任理事他)<br>(鹿児島)九医連常任委員会<br>(鹿児島)九医連定例委員総会<br>(鹿児島)九州医連連絡会執行委員会<br>安倍内閣総理大臣との懇談会<br>(佐々木常任執行委員) |
| 7        | 治験審査委員会(荒木常任理事他)<br>第11回常任理事協議会(会長他)                                                                                                    | 26 | 地域包括加算・地域包括診療料に係るか<br>かりつけ医研修会(TV会議)<br>衆議院議員松下新平政経セミナー<br>(山村常任執行委員)                                                                     |
| 8        | 国保に係る九州厚生局・県による指導監査<br>県がん診療連携協議会(会長)<br>支払基金幹事会(会長)                                                                                    | 27 | 県立病院事業評価委員会(会長)<br>県ロコモティブシンドローム対策協議会<br>(帖佐理事)                                                                                           |
| 9        | 社会保険医療担当者の新規個別指導<br>(川野理事)<br>日本スポーツ振興センター学校安全業務運<br>営会議(高村常任理事)<br>県産婦人科医会全理事会                                                         | 28 | 医協理事会(河野理事長他)<br>第6回全理事協議会(会長他)<br>役職員懇談会(会長他)                                                                                            |
| 11<br>12 | 医療メディエーター研修会(基礎編)<br>(河野理事長他)                                                                                                           | 29 | (東京)東京女子医科大ファミサポスキル<br>アップ研修会(荒木常任理事)<br>県総合計画審議会専門部会(会長)<br>労災診療指導委員会(川野理事)<br>県総合計画審議会専門部会委員意見交換会<br>(会長)                               |
| 17       | 県外科医会夏期講演会<br>武井俊輔国政報告会(河野委員長)                                                                                                          | 30 | 社会保険医療担当者の新規個別指導<br>(嶋本理事)<br>医療勤務環境改善支援センターアドバイザー<br>研修会<br>社会保険医療担当者の個別指導(嶋本理事)<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)                                     |
| 18       | 産業医研修会(前期)(園田理事)<br>母体保護法指定医師研修会(嶋本理事)<br>学校医部会総会・医学会(TV会議)(会長他)<br>(長崎)九州地区医師国保組合連合会理事会<br>(秦理事長)<br>(長崎)九州地区医師国保組合連合会全体協<br>議会(秦理事長他) | 31 | (東京)地域医療構想アドバイザー会議<br>(金丸常任理事)                                                                                                            |
| 18<br>19 | (長崎)中四九地区医師会看護学校協議会<br>(佐々木常任理事)                                                                                                        |    |                                                                                                                                           |
| 19       | 職員採用試験(二次)<br>宮崎から医師を目指そう！フォーラム<br>(金丸常任理事)                                                                                             |    |                                                                                                                                           |

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年 8 月13日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 4人

#### 1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常 勤 | 非常勤 |
|--------|-----|-----|-----|
| 内 科    | 3   | 1   | 2   |
| 老 健    | 1   | 1   | 0   |

#### 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常 勤 | 非常勤 |
|--------|-----|-----|-----|
|        | 0   | 0   | 0   |

### 2. 斡旋成立件数 65人 (人)

|            | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|------------|------|------|-----|
| 平 成 30 年 度 | 1    | 2    | 3   |
| 平成16年度から累計 | 47   | 18   | 65  |

### 3. 求人登録 93件 345人 (人)

| 募集診療科目        | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 | 募集診療科目          | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 |
|---------------|-----|-----|-----|-----------------|-----|-----|-----|
| 内 科           | 103 | 79  | 24  | 消 化 器 外 科       | 4   | 2   | 2   |
| 外 科           | 30  | 24  | 6   | 乳 腺 外 科         | 3   | 3   | 0   |
| 整 形 外 科       | 26  | 22  | 4   | 健 診             | 8   | 5   | 3   |
| 精 神 科         | 14  | 13  | 1   | 泌 尿 器 科         | 2   | 1   | 1   |
| 脳 神 経 外 科     | 12  | 8   | 4   | 産 婦 人 科         | 1   | 1   | 0   |
| 循 環 器 科       | 10  | 7   | 3   | 検 診             | 3   | 1   | 2   |
| 消 化 器 内 科     | 15  | 12  | 3   | 皮 膚 科           | 5   | 2   | 3   |
| 麻 酔 科         | 13  | 10  | 3   | 婦 人 科           | 2   | 2   | 0   |
| 眼 科           | 9   | 6   | 3   | 呼 吸 器 外 科       | 4   | 3   | 1   |
| 放 射 線 科       | 11  | 10  | 1   | 人 工 透 析         | 7   | 5   | 2   |
| 小 児 科         | 4   | 2   | 2   | リ ウ マ チ 科       | 1   | 1   | 0   |
| 呼 吸 器 科       | 3   | 3   | 0   | 臨 床 病 理 科       | 1   | 1   | 0   |
| 在 宅 診 療       | 2   | 2   | 0   | 形 成 外 科         | 2   | 1   | 1   |
| 総 合 診 療 科・内 科 | 3   | 3   | 0   | 診 療 科 目 不 問     | 3   | 3   | 0   |
| 神 経 内 科       | 8   | 6   | 2   | 緩 和 ケ ア         | 1   | 1   | 0   |
| 呼 吸 器 内 科     | 10  | 9   | 1   | 内 分 泌 糖 尿 病 内 科 | 1   | 1   | 0   |
| リハビリテーション科    | 4   | 4   | 0   | そ の 他           | 11  | 8   | 3   |
| 救 命 救 急 科     | 9   | 9   | 0   | 合 計             | 345 | 270 | 75  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募集診療科                        | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|---------------------------|-------|------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                   | 宮 崎 市 | 検診                           | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外,整,放,麻,内                   | 9   | 常勤・非常勤 |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮 崎 市 | 乳外,放,麻                       | 3   | 常勤     |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精,内                          | 2   | 常勤     |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼内,神内,総診,呼外,病理,<br>乳外,整,麻,代内 | 9   | 常勤     |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                            | 1   | 常勤     |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内,内分泌糖内,呼内,リウ,<br>神内,健診     | 9   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内,放                          | 2   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内,神内,整,消内,腫内                 | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内,呼内,総診                     | 6   | 常勤     |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内,外                          | 2   | 常勤     |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                            | 1   | 常勤     |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内,外,救急,呼外,婦人,整,麻             | 12  | 常勤     |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 外,内,放                        | 3   | 常勤     |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                            | 1   | 常勤     |
| 210128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤     |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 常勤     |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設 サンフローラみやざき       | 国 富 町 | 内,外                          | 2   | 常勤     |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外,内                         | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 呼内,消内,健診,麻                   | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,<br>緩和      | 13  | 常勤     |
| 230148 | 医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外,形成外,外,麻                   | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | 医)健心会 滝口内科医院              | 宮 崎 市 | 内,皮                          | 2   | 非常勤    |
| 230164 | 宮崎県保健所                    | 宮 崎 市 | 公衆衛生                         | 3   | 常勤     |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会            | 宮 崎 市 | 内,小,整(いずれか)                  | 1   | 常勤     |
| 230177 | 医)社団尚成会 近間病院              | 宮 崎 市 | 内,消内,消外,放(いずれか)              | 1   | 常勤     |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑             | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 常勤     |
| 230180 | 一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院     | 宮 崎 市 | 内,糖内,呼内,血内                   | 4   | 常勤     |
| 230184 | グリーンケア学園木花台               | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 非常勤    |
| 230185 | 医)朋詠会 獅子目整形外科病院           | 宮 崎 市 | 整,内                          | 2   | 常勤     |
| 230193 | 医)共生会 杉田眼科医院              | 宮 崎 市 | 眼                            | 1   | 非常勤    |
| 230194 | 医)財団シロアム 新城眼科医院           | 宮 崎 市 | 眼                            | 2   | 常勤     |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内,消内,整,神内                    | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内            | 22  | 常勤・非常勤 |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内,外,整                        | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター            | 都 城 市 | 呼内,総診,消内,腫内                  | 4   | 常勤     |
| 180081 | 恵心会 永田病院                  | 都 城 市 | 精                            | 2   | 常勤・非常勤 |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都 城 市 | 内,呼内,消内                      | 5   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                      | 都 城 市 | 精,内                          | 3   | 常勤     |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院                | 都 城 市 | 消内,消外,乳外                     | 5   | 常勤・非常勤 |
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科               | 都 城 市 | 内                            | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医)魁成会 宮永病院                | 都 城 市 | 内,リハ                         | 2   | 常勤     |

| 登録番号   | 施 設 名               | 所 在 地 | 募集診療科                     | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|---------------------|-------|---------------------------|-----|--------|
| 230153 | 都城健康サービスセンター        | 都 城 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230162 | 藤元総合病院              | 都 城 市 | 内,透,循内,救急,放,呼内            | 12  | 常勤     |
| 230172 | 医)静雄会 藤元上町病院        | 都 城 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 230179 | 医)与州会 柳田病院          | 都 城 市 | 外                         | 1   | 常勤     |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう       | 三 股 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230183 | 医)恵心会 坂元医院          | 都 城 市 | 消内,老人内,内                  | 5   | 常勤・非常勤 |
| 230191 | 医)森山内科・脳神経外科        | 都 城 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230192 | 医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院  | 都 城 市 | 内                         | 1   | 常勤・非常勤 |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院          | 延 岡 市 | 外,整,放,内                   | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院          | 延 岡 市 | 精                         | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院         | 延 岡 市 | 消外,消内                     | 4   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                | 延 岡 市 | 消内,循内                     | 2   | 常勤     |
| 200100 | 医)育生会 井上病院          | 延 岡 市 | 産婦,内,小                    | 3   | 常勤・非常勤 |
| 200102 | 延岡市医師会病院            | 延 岡 市 | 消内,消外,内                   | 3   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター         | 延 岡 市 | 内,小                       | 2   | 非常勤    |
| 230156 | 医)中心会 野村病院          | 延 岡 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック         | 延 岡 市 | 内,胃内,消内,呼内,循内<br>(いずれか)   | 1   | 非常勤    |
| 230186 | 医)隆誠会 延岡保養園         | 延 岡 市 | 精                         | 1   | 常勤     |
| 230189 | 特医)健腎会 おがわクリニック     | 延 岡 市 | 泌,透                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院          | 日 向 市 | 外,整                       | 4   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院         | 門 川 町 | 内,麻                       | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院       | 美 郷 町 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所      | 美 郷 町 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院            | 日 向 市 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院             | 都 農 町 | 内,放,外,健診                  | 5   | 常勤・非常勤 |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院       | 高 鍋 町 | 内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,<br>眼,健診 | 13  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設 なでしこ園      | 高 鍋 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230187 | 国立病院機構宮崎病院          | 川 南 町 | 呼内,循内,糖内,神内,小,整           | 12  | 常勤・非常勤 |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院          | 西 都 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院        | 日 南 市 | 内                         | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院          | 日 南 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院          | 日 南 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 160037 | 医)十善会 県南病院          | 串 間 市 | 精,内                       | 2   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院            | 日 南 市 | 内,外,整,在宅                  | 4   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院              | 串 間 市 | 内,外,総診,消内,腎内              | 5   | 常勤     |
| 230149 | 介護老人保健施設 おびの里       | 日 南 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230166 | 医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里 | 串 間 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック   | 日 南 市 | 内                         | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230188 | 医)春光会 日南春光会病院       | 日 南 市 | 外,内                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院        | 小 林 市 | 内,皮                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科        | 小 林 市 | 眼                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院              | 小 林 市 | 救急,総診,放                   | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医)けんゆう会 園田病院        | 小 林 市 | 外,循内,整,脳外                 | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院         | 小 林 市 | 精                         | 1   | 常勤     |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院        | 小 林 市 | 整,内,脳外                    | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設 さわやかセンター   | 小 林 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医)連理会 和田クリニック       | 小 林 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院        | 五ヶ瀬町  | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院            | 高千穂町  | 内,透                       | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院            | 日之影町  | 内,外(いずれか)                 | 1   | 常勤     |



## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年 8 月13日現在

|                 |                                                                                                                                                         |                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番<br>土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)                                                                                                    | 所有者：児湯医師会員<br>(医)崧雲会 林クリニック |
|                 | ② 西都市中央町2丁目6番地<br>土地：2,280.83㎡(691.16坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡<br>2階 547.79㎡<br>3階 177.95㎡<br>1,400.48㎡(424.38坪)<br>※別途駐車場あり(20台)          | 所有者：西都市西児湯医師会員<br>図師医院跡     |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ① 小林市南西方49番地1<br>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡<br>2階 638.35㎡<br>1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                           | 所有者：(医)社団 産婦人科<br>生駒クリニック   |
|                 | ② 児湯郡川南町大字平田1402-74<br>土地：4,449㎡(1,348.18坪)<br>建物：鉄骨セメント造平屋建<br>1階 825.66㎡(250.20坪)<br>※駐車場あり(70台)                                                      | 所有者：児湯医師会員<br>(医)崧雲会 林クリニック |
| 3. 賃貸物件         | ① 延岡市無鹿町1丁目710<br>土地：1,654.58㎡(501.38坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建<br>1階 145.76㎡<br>2階 338.70㎡<br>3階 330.69㎡<br>4階 14.25㎡<br>829.40㎡(251.33坪)<br>※駐車場あり(50台) | 所有者：(医)社団 隆豊会<br>江崎医院跡      |
|                 | ② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地<br>土地：875㎡(265.15坪)<br>建物：木造瓦葺平家建<br>1階 114㎡(34.54坪)<br>※駐車場あり(20台)                                                                 | 所有者：西臼杵郡医師会員<br>後藤医院跡       |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : [genko@miyazaki.med.or.jp](mailto:genko@miyazaki.med.or.jp)

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前： \_\_\_\_\_

ご所属： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 8 月28日

| 9  |   |                                                                                               | 月  |   |                                                                                           |             |
|----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1  | 土 | 15:30 (熊本)全国国保組合協会九州支部幹事会・総会<br>15:30 県医師会医学会                                                 | 16 | 日 |                                                                                           |             |
|    |   |                                                                                               | 17 | 月 | (敬老の日)                                                                                    |             |
| 2  | 日 |                                                                                               |    |   |                                                                                           |             |
| 3  | 月 | 19:00 宮大医学部5年生未来の医療を語り合う全員交流会                                                                 | 18 | 火 | 15:00 (日医)都道府県医師会長協議会<br>17:00 (日医)都道府県医師連盟<br>委員長会議<br>18:20 医協打合せ会<br>19:00 第14回常任理事協議会 | 国<br>保<br>審 |
| 4  | 火 | 18:00 治験審査委員会<br>19:00 第13回常任理事協議会                                                            | 19 | 水 |                                                                                           | 査           |
| 5  | 水 |                                                                                               |    |   |                                                                                           |             |
| 6  | 木 | 13:00 社会保険医療担当者の個別指導                                                                          | 20 | 木 | 13:30 (東京)全国国保組合協会理事長・役員研修会<br>13:30 社会保険医療担当者の個別指導<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会                 | ↓           |
| 7  | 金 | 18:30 県国保連合会保健事業支援・評価委員会<br>19:00 認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)                                    | 21 | 金 | 19:00 広報委員会                                                                               |             |
| 8  | 土 | 9:00 (東京)都道府県災害医療コーディネート研修<br>14:30 産業医研修会(前期)<br>15:00 県産婦人科医会秋期総会<br>15:00 園医部会総会・研修会(TV会議) | 22 | 土 | 15:00 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・運営委員会<br>15:00 医療現場のワークライフバランスセミナー                             | ↑           |
| 9  | 日 | 9:30 (東京)都道府県災害医療コーディネート研修                                                                    | 23 | 日 | (秋分の日)                                                                                    | 社           |
| 10 | 月 | 19:00 県糖尿病対策推進会議幹事会                                                                           | 24 | 月 | (振替休日)                                                                                    | 保           |
| 11 | 火 | 19:00 土曜会(報道機関支局長の会)との意見交換会                                                                   | 25 | 火 | 14:00 宮大医学部医の倫理委員会<br>18:15 医協理事会<br>19:00 第7回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会                | 審<br>査      |
| 12 | 水 | 13:00 社会保険医療担当者の監査<br>16:00 支払基金幹事会<br>19:00 広報委員会                                            | 26 | 水 | 15:00 労災診療指導委員会                                                                           |             |
| 13 | 木 | 13:00 社会保険医療担当者の監査<br>19:00 医療勤務環境改善支援セミナー                                                    | 27 | 木 | 15:00 県地域医療対策協議会<br>18:30 社会保険医療担当者の集団的個別指導                                               | ↓           |
| 14 | 金 | 19:00 三師会懇談会                                                                                  | 28 | 金 | 10:30 地域医療現場における働きやすい環境を考える会<br>18:30 治験セミナー(TV会議)<br>19:00 損保ジャパン日本興亜との懇談会               |             |
| 15 | 土 | 13:00 保育支援事業スキルアップ研修会／全体顔合わせ会<br>13:00 自由民主党宮崎県政経セミナー2018<br>15:00 日医生涯教育協力講座セミナー(TV会議)       | 29 | 土 | 15:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会<br>16:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会管理者研修会<br>16:00 県有床診療所協議会総会・講演会  |             |
|    |   |                                                                                               | 30 | 日 |                                                                                           |             |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年8月28日

| 10                                                  |   |                                                                                                                       | 月  |   |                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1                                                   | 月 | 10:00 県健康長寿社会づくり推進会議                                                                                                  | 17 | 水 |                                                                                                                   |
| 2                                                   | 火 | 18:30 第8回全理事協議会<br>19:00 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会                                                                      | 18 | 木 | 13:00 社会保険医療担当者の個別指導                                                                                              |
| 3                                                   | 水 | 10:00 (日医)日医社会保険指導者講習会<br>14:00 (日医)日医産業保健委員会                                                                         | 19 | 金 | 12:30 (佐賀)全国医師国保組合連合会<br>代表者会<br>13:30 (佐賀)全国医師国保組合連合会<br>全体協議会                                                   |
| 4                                                   | 木 | 10:00 (日医)日医社会保険指導者講習会                                                                                                | 20 | 土 | (鹿児島)九州各県内科医会協議<br>会諸行事<br>14:00 かかりつけ医認知症対応力向上<br>研修会(TV会議)<br>14:30 産業医研修会(実地)<br>16:30 (福岡)九州医師協同組合連合会<br>通常総会 |
| 5                                                   | 金 |                                                                                                                       |    |   |                                                                                                                   |
| 6                                                   | 土 | 11:00 アイバンクサポーター講習会<br>15:00 県警察医会総会・特別講演会<br>16:00 (鹿児島)九医連常任委員会<br>16:00 (鹿児島)九医連第1回各種協議会<br>18:10 (鹿児島)九医連各種協議会報告会 |    |   |                                                                                                                   |
| 7                                                   | 日 |                                                                                                                       | 21 | 日 | 9:00 (福岡)九州医師協同組合連合会<br>通常総会<br>14:00 子どもの健康セミナー                                                                  |
| 8                                                   | 月 | (体育の日)                                                                                                                | 22 | 月 |                                                                                                                   |
| 9                                                   | 火 | 18:30 第9回全理事協議会<br>19:20 各郡市医師会会長協議会                                                                                  | 23 | 火 | 19:00 第15回常任理事協議会                                                                                                 |
| 10                                                  | 水 | 16:00 支払基金幹事会                                                                                                         | 24 | 水 | 13:00 社会保険医療担当者の監査<br>19:00 広報委員会                                                                                 |
| 11                                                  | 木 | 13:00 (日医)産業保健活動推進全国会議<br>14:00 労災診療費算定実務研修会<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会                                                    | 25 | 木 |                                                                                                                   |
| 12                                                  | 金 | 14:00 労災診療費算定実務研修会<br>14:00 (日医)日医小児在宅ケア検討委<br>員会<br>19:00 広報委員会                                                      | 26 | 金 | 17:00 (鹿児島)九医連学校医会<br>評議員会・総会                                                                                     |
| 13                                                  | 土 | 9:00 ICLS指導者養成ワークショップ<br>16:00 病院部会・医療法人部会合同研<br>修会                                                                   | 27 | 土 | 10:00 (鹿児島)全国学校保健・学校<br>医大会(兼九州ブロック学校 国<br>保健・学校医大会) 保<br>16:00 県整形外科医会研修会                                        |
| 14                                                  | 日 | 8:30 ACLS研修会<br>9:00 (日医)JMAT研修 基本編<br>13:00 (日医)医療安全推進者養成講座<br>「講習会」<br>14:00 県小児科医会秋季学術講演会                          | 28 | 日 | 9:30 (鹿児島)九州学校検診協議会 審<br>専門委員会 査<br>10:30 (福岡)eレジフェア<br>11:30 (鹿児島)九州学校検診協議会<br>幹事会                               |
| 15                                                  | 月 |                                                                                                                       | 29 | 月 | 医療保険請求事務実技試験                                                                                                      |
| 16                                                  | 火 |                                                                                                                       | 30 | 火 | 17:00 地域医療における働きやすい環<br>境を考える会学生向けセミナー                                                                            |
| ※都合により、変更になることがあります。<br>行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。 |   |                                                                                                                       | 31 | 水 | 15:00 労災診療指導委員会                                                                                                   |

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※＝連絡先                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第26回都城緩和ケア研究会</b><br>9月1日(土)<br>13:00～16:30<br>都城市北諸県郡医師会館<br>参加費：1,000円 | <b>特別講演 癌と深部静脈血栓症(DVT)</b><br>藤元総合病院 在宅療養課 診療科部長<br>馬見塚 勝郎                                    | 81<br>(0.5)        | ◇主催<br>※都城緩和ケア研究会<br>☎0986-22-0230<br>◇共催<br>第一三共株式会社<br>◇後援<br>都城市<br>宮崎県医師会<br>都城市北諸県郡医師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県薬剤師会<br>宮崎県栄養士会<br>宮崎県介護支援専門員協会<br>宮崎県理学療法士会<br>宮崎県作業療法士会<br>都城市社会福祉協議会<br>宮崎県認知症ケア専門士会<br>宮崎県社会福祉士会<br>みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク<br>宮崎県医療ソーシャルワーカー協会 |
|                                                                             | <b>症例検討会</b><br><b>患者の望む在宅医療をタイムリーに支援した一事例</b><br>三州病院 看護師<br>松元 さやか<br>他5題                   | 81<br>(1.5)        |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                             | <b>シンポジウム 地域での緩和ケアのつながり</b><br>宮崎県福祉保健部長寿介護課 医療介護連携室<br>地域包括ケア推進担当<br>山下 智代<br>他2題            | 81<br>(1.0)        |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>平成30年度宮崎県医師会医学会</b><br>9月1日(土)<br>15:30～17:30<br>県医師会館                   | <b>【専門医共通講習－①医療倫理(必修)】</b><br><b>医療倫理：専門職意識と意思決定</b><br>熊本大学医学部生命科学研究院 医療倫理学分野<br>教授<br>門岡 康弘 | 3<br>(1.0)         | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                             | <b>人工知能の医療利活用</b><br>東京大学医科学研究所<br>国際先端医療社会連携研究部門<br>特任准教授<br>湯地 晃一郎                          | 9<br>(1.0)         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>第129回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会</b><br>9月4日(火)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル            | <b>健康寿命の延伸に向けて</b><br><b>－心不全治療ガイドラインを活用する－</b><br>佐賀大学医学部内科学講座<br>主任教授<br>野出 孝一              | 9<br>(1.0)         | ◇主催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>◇共催<br>日本メドトロニック株式会社<br>興和創薬株式会社<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119                                                                                                                                                            |

| 名称・日時・場所                                                                                                                      | 演 題                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 日向市東臼杵郡医師会学術講演会<br>9月5日(水)<br>19:00～20:10<br>ホテルベルフォー<br>ト日向                                                                  | 心房細動治療のoptimization<br>東京慈恵医大葛飾医療センター<br>循環器内科 講師 松尾 征一郎             | 73<br>(0.5)<br>78<br>(0.5)                              | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>マイランEPD合同会社 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>9月7日(金)<br>19:00～21:00<br>都城市北諸県郡医<br>師会館                                                                 | 職場における糖尿病対策<br>産業保健相談員<br>日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会：2単位      | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                 |
| 第10回 認知症サ<br>ポート医フォロー<br>アップ研修会【TV<br>会議】<br>9月7日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館【TV会<br>議場：都城，延岡，<br>日向，児湯，西都，<br>南那珂，西諸，西<br>臼杵】 | 症例提示：うつ状態で発症した若年性アルツハイマー病<br>県南病院認知症疾患医療センター<br>センター長 藤元 ますみ         | 29<br>(0.5)                                             | ◇主催<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県認知症疾患医療センター                  |
|                                                                                                                               | 認知症のリハビリテーションと精神科作業療法の役割<br>県南病院作業療法士 瀬戸山 寛                          | 29<br>(0.5)                                             |                                                                          |
|                                                                                                                               | 認知症のリハビリテーションー運動療法を中心にー<br>日南市立中部病院<br>診療科長兼リハビリテーションセンター長<br>鈴木 幹次郎 | 29<br>(0.5)                                             |                                                                          |
|                                                                                                                               | 総合討論<br>県南病院認知症疾患医療センター<br>センター長 藤元 ますみ                              | 29<br>(0.5)                                             |                                                                          |

| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                               |
|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 延岡医学会学術講演会<br>9月7日(金)<br>19:00～20:30<br>エンシティホテル<br>延岡          | 認知症初期集中支援チームとは<br>認知症初期集中支援チーム 吉田病院 中村 雅俊<br>延岡市健康長寿のまちづくり課 柴田 一仁           | 13<br>(0.5)                    | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>エーザイ(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
|                                                                 | 認知症をどう診るか<br>ーレビー小体型認知症とてんかんの鑑別を中心にー<br>神奈川歯科大学附属病院 認知症・高齢者総合内科<br>教授 眞鍋 雄太 | 29<br>(0.5)<br><br>35<br>(0.5) |                                                                                     |
|                                                                 |                                                                             |                                |                                                                                     |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>9月8日(土)<br>14:30～18:30<br>県医師会館                 | 産業保健活動とは何か<br>宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野<br>教授 黒田 嘉紀                              | 1<br>(0.5)<br><br>6<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                     |
|                                                                 | 基礎研修の前期研修会：2単位                                                              | 11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5) |                                                                                     |
|                                                                 | 化学物質のリスクアセスメント入門<br>ー主に有害物についてー<br>COH労働衛生コンサルタント 矢崎 武                      | 7<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)   |                                                                                     |
| 平成30年度宮崎県医師会園医部会総会・研修会【TV会議】<br>9月8日(土)<br>15:00～17:40<br>県医師会館 | 食物アレルギーの基本的な考え方と最近の話題<br>児玉小児科 院長 児玉 隆志                                     | 16<br>(0.5)<br><br>17<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県医師会園医部会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                               |
|                                                                 | 口から育つところと身体ー乳幼児期の子育ち支援ー<br>UTAKA DENTAL OFFICE<br>佐々木歯科(東京都) 佐々木 洋          | 11<br>(0.5)<br><br>72<br>(0.5) |                                                                                     |
|                                                                 |                                                                             |                                |                                                                                     |



| 名称・日時・場所                                                                         | 演 題                                                                                            | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第30回宮崎県糖尿病教育セミナー</b><br>9月9日(日)<br>9:55～16:45<br>延岡総合文化センター<br><br>参加費：3,000円 | <b>慢性腎臓病重症化予防対策について</b><br>宮崎県立延岡病院 内科医長<br>宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座 助教<br>戸井田 達典                   | 76<br>(1.0)        | ◇主催<br>宮崎県糖尿病懇話会<br>◇共催<br>※ノボルディスクファーマ(株)<br>☎0985-20-1891<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>延岡市医師会<br>宮崎県薬剤師会<br>宮崎県病院薬剤師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県糖尿病療養指導士会<br>宮崎県歯科医師会<br>宮崎県臨床検査技師会<br>宮崎県栄養士会<br>宮崎県糖尿病対策推進会議 |
|                                                                                  | <b>腎症進展予防のための栄養指導について</b><br><b>一 家族と同じ食事で腎症予防一</b><br>延岡クリニック<br>金子 由美                        | 76<br>(1.0)        |                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | <b>昼食の解説について</b><br>延岡市医師会病院 管理栄養士<br>村中 一枝                                                    | 76<br>(0.5)        |                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | <b>延岡市の慢性腎臓病・糖尿病重症化予防の取り組み</b><br>延岡市市民環境部国民健康保険課<br>健診指導係指導士<br>濱田 明子                         | 76<br>(0.5)        |                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | <b>宮崎県の糖尿病腎症重症化予防に向けた実態調査</b><br><b>一新規透析患者から見える実態一</b><br>宮崎県国民健康保険団体連合会<br>介護・健康増進課<br>小島 聡子 | 76<br>(0.5)        |                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | <b>腎症患者における服薬管理の工夫</b><br>延岡市医師会病院 薬剤科<br>三代 朗子                                                | 76<br>(0.5)        |                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | <b>糖尿病に合併する腎疾患の進行予防対策</b><br><b>一腎症2期から3期に進展しないため一</b><br>みやた内科医院 院長<br>宮田 純一                  | 76<br>(0.5)        |                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | <b>クリニックでの糖尿療養支援</b><br><b>一腎症を悪化させないためにCDEJ・CDELができる事一</b><br>理恵内科クリニック 看護師<br>谷名 久美          | 76<br>(0.5)        |                                                                                                                                                                                                |

| 名称・日時・場所                                                                                                 | 演 題                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎肝炎連携セミナー</b><br>9月11日(火)<br>19:00～20:40<br>宮崎観光ホテル                                                  | <b>透析患者におけるC型慢性肝炎抗ウイルス治療の現状</b><br>宮崎医療センター病院<br>副院長兼消化器・肝臓病センター長 宇都 浩文 | 15<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県透析医会<br>◇共催<br>宮崎県肝疾患懇話会<br>※アッヴィ合同会社<br>☎03-4577-1145<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>宮崎市郡医師会 |
|                                                                                                          | <b>腎機能低下例も含めたC型肝炎の最新治療</b><br>北海道大学医学研究院内科学分野消化器内科学教室<br>特任助教 須田 剛生     | 73<br>(1.0)                    |                                                                                              |
| <b>宮崎市郡内科医会<br/>学術講演会</b><br>9月11日(火)<br>19:30～20:30<br>宮崎市郡医師会館                                         | <b>炎症性腸疾患：最近の話題</b><br>宮崎大学医学部附属病院消化器内科<br>助教 芦塚 伸也                     | 53<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎市郡内科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                                         |
| <b>南那珂医師会生涯<br/>教育医学会</b><br>9月12日(水)<br>18:50～20:00<br>南那珂医師会館                                          | <b>GLから見た心不全の薬物治療</b><br>鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学<br>講師 窪 蘭 琢郎                  | 24<br>(1.0)                    | ◇主催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411<br>◇共催<br>第一三共株式会社                                           |
| <b>第1回心臓病の病<br/>診病病連携を考え<br/>る会ー知っておき<br/>たい脈の乱れ・心<br/>房細動リスクー</b><br>9月12日(水)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル | <b>心房細動アブレーション治療の医療連携を考える</b><br>慶應義塾大学医学部 循環器内科<br>准教授 高月 誠司           | 12<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031<br>ブリストルマイヤーズスクイブ(株)<br>日本メドトロニック(株)     |

| 名称・日時・場所                                                                                               | 演 題                                                                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------|
| <b>第119回 江南医療<br/>連携の会 症例検<br/>討会</b><br>9月13日(木)<br>19:00～20:45<br>宮崎江南病院                             | <b>当院における猫咬創の検討</b><br>JCHO宮崎江南病院 形成外科 土居 華子                                                                            | 57<br>(0.5)        | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>JCHO宮崎江南病院<br>☎0985-52-4004       |
|                                                                                                        | <b>おいくらですか？検査の費用について</b><br>JCHO宮崎江南病院 放射線科 結城 康弘                                                                       | 0<br>(0.5)         |                                                               |
|                                                                                                        | <b>最近の大腸手術症例</b><br>JCHO宮崎江南病院 外科 永峯 佳尚                                                                                 | 50<br>(0.5)        |                                                               |
| <b>宮崎県医療勤務環<br/>境改善セミナー</b><br>9月13日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                                        | <b>勤務環境改善に向けた当院での取り組み</b><br>医療法人誠和会 和田病院<br>診療技術部長 理学療法士 荒瀬 浩之                                                         | 6<br>(0.5)         | ◇主催<br>宮崎県医療勤務環境改善支援センター<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118  |
|                                                                                                        | <b>医師事務作業補助者活用による<br/>医師の業務負担軽減から病院運営の効率化まで</b><br>一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団<br>総務人事部主任<br>NPO法人 日本医師事務作業補助研究会<br>理事 武田 まゆみ | 10<br>(0.5)        |                                                               |
|                                                                                                        | <b>今後の働き方改革について～ 36協定の結び方～</b><br>宮崎県医療勤務環境改善支援センター<br>労務管理アドバイザー・特定社会保険労務士<br>越山 直美                                    | 6<br>(0.5)         |                                                               |
| <b>日医生涯教育協力<br/>講座－これからの<br/>高尿酸血症・痛風<br/>の 治 療 戦 略【TV<br/>会議】</b><br>9月15日(土)<br>15:00～18:20<br>県医師会館 | <b>CKDと尿酸－基礎研究を中心に－</b><br>奈良県立医科大学 未来基礎医学教室<br>教授 仲川 孝彦                                                                | 73<br>(1.0)        | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>日本医師会<br>帝人ファーマ株式会社 |
|                                                                                                        | <b>高尿酸血症・痛風の治療</b><br>赤坂中央クリニック 院長 日高 雄二                                                                                | 15<br>(1.0)        |                                                               |
|                                                                                                        | <b>血清尿酸値と慢性腎臓病発症の関係(久山町研究より)</b><br>九州大学医学研究院 衛生・公衆衛生学分野<br>教授 二宮 利治<br><b>無症候性高尿酸血症－患者教育と治療継続－</b><br>嶋田病院 理事長 嶋田 英敬   | 82<br>(1.0)        |                                                               |

| 名称・日時・場所                                                                                                             | 演 題                                                                              | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第12回日本東洋医学<br/>学会九州地区専門<br/>医制度教育講演会<br/>宮崎中継</b><br>9月16日(日)<br>13:00～16:30<br>宮崎大学医学部附<br>属病院<br><br>参加費:3,000円 | <b>教育講演Ⅰ：漢方薬のユニークな作用を担う薬理的標的</b><br>東京理科大学薬学部 教授 磯濱 洋一郎                          | 9<br>(1.5)                     | ◇主催<br>※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会<br>☎0985-85-0988<br>◇共催<br>日本東洋医学会九州支部福岡県部会<br>宮崎県医師会東洋医学会 |
|                                                                                                                      | <b>教育講演Ⅱ：方剤運用の実際(仮)</b><br>福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座<br>教授 三瀧 忠道                    | 15<br>(1.0)<br><br>83<br>(0.5) |                                                                                     |
|                                                                                                                      | <b>ガイダンス</b><br>九州大学医学研究院 地域医療ユニット<br>准教授 貝沼 茂三郎                                 | 83<br>(0.5)                    |                                                                                     |
| <b>宮崎精神科医療シ<br/>ナジー講演会</b><br>9月21日(金)<br>19:00～20:50<br>宮崎観光ホテル                                                     | <b>地域における当院の役割について<br/>ー精神科における身体合併症の治療ー</b><br>宮崎県立宮崎病院 精神医療センター<br>センター長 河野 次郎 | 12<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎県精神科医会<br>☎0982-37-0126<br>◇共催<br>宮崎県病院薬剤師会<br>MeijiSeikaファルマ(株)          |
| <b>宮崎市郡産婦人科<br/>医会9月学術講演会</b><br>9月21日(金)<br>19:15～20:15<br>ホテルメリージュ                                                 | <b>婦人科ロボット手術のアップデートと我々の取り組み</b><br>鹿児島大学医歯学総合研究科 産科婦人科学教室<br>教授 小林 裕明            | 0<br>(0.5)<br><br>7<br>(0.5)   | ◇主催<br>宮崎市郡産婦人科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                              |
| <b>宮崎県難治性の皮<br/>膚疾患を考える会</b><br>9月21日(金)<br>19:20～21:00<br>宮崎観光ホテル                                                   | <b>膠原病の重大な合併症の診断・治療について</b><br>宮崎大学医学部内科学講座 循環体液制御学分野<br>助教 鬼塚 久充                | 45<br>(1.0)                    | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>◇共催<br>※アクリオンファーマシューティカルズジャパン<br>☎092-481-2860                   |
|                                                                                                                      | <b>血管障害から考える全身性強皮症の病態と治療戦略</b><br>東京大学 医学研究科・医学部 皮膚科<br>准教授 浅野 善英                | 19<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5) |                                                                                     |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 医療現場のワーク<br>ライフバランスセ<br>ミナー<br>9月22日(土)<br>15:00～16:30<br>県医師会館            | 医師として、社会の歯車になる<br>JCHO久留米総合病院 病院長<br>田中 真紀                                                                  | 1<br>(0.5)<br>6<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)               | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>地域医療現場における働きやすい環境を考える会<br>宮崎県医療勤務環境改善支援センター |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>9月27日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                       | ストレスチェックテストの集団分析<br>産業保健相談員<br>都城新生病院<br>前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                            | 1<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>0<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                              |
| 第6回宮崎大学が<br>ん診療部医療連携<br>講演会<br>9月27日(木)<br>18:15～20:00<br>宮崎大学医学部臨<br>床講義室 | 重粒子線がん治療の現状と展望<br>九州国際重粒子線がん治療センター<br>センター長<br>塩山 善之                                                        | 9<br>(0.5)<br>10<br>(0.5)                             | ◇主催<br>宮崎大学医学部附属病院がん診療部<br>◇共催<br>※エーザイ株式会社<br>☎080-5929-0516                         |
| 宮崎泌尿器科医療<br>連 携(MiU-Net)<br>カンファレンス<br>9月27日(木)<br>18:45～20:30<br>宮崎観光ホテル  | MiU-NetとBPHコホート研究の現況<br>潤和会記念病院泌尿器科 部長<br>月野 浩昌<br>-----<br>BPH治療最近の話題<br>香川大学医学部医学系研究科泌尿器科学<br>教授<br>杉元 幹史 | 12<br>(0.5)<br>65<br>(1.0)                            | ◇主催<br>宮崎県泌尿器科医会<br>◇共催<br>※日本新薬株式会社<br>☎099-258-6021                                 |

| 名称・日時・場所                                                                      | 演 題                                                                                                 | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                 | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>平成30年度宮崎県<br/>医師会治験セミ<br/>ナー【TV会議】</b><br>9月28日(金)<br>18:30～20:00<br>県医師会館 | <b>【専門医共通講習－⑧臨床研究・臨床試験など(任意)】<br/>※申請中<br/>臨床研究法の概要(仮)</b><br>厚生労働省医政局研究開発振興課 治験推進室<br>治験推進係長 山下 雄大 | 6<br>(1.0)                                                         | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                       |
| <b>延岡医学会学術講<br/>演会</b><br>9月28日(金)<br>18:50～20:30<br>エンシティホテル<br>延岡           | <b>心房細動合併冠動脈疾患における抗血栓療法<br/>－現状と今後の展望－</b><br>熊本大学生命科学研究部循環器内科学<br>准教授 海北 幸一                        | 11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5)<br><br>78<br>(0.5)                  | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>バイエル薬品(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
| <b>平成30年度 宮崎<br/>県有床診療所協議<br/>会総会・講演会</b><br>9月29日(土)<br>16:00～18:00<br>県医師会館 | <b>医療法人の相続・事業承継の留意点</b><br>税理士法人青木会計 代表社員 青木 恵一                                                     | 6<br>(1.0)                                                         | ◇主催<br>宮崎県有床診療所協議会<br>(連絡先)<br>県医師会<br>☎0985-22-5118                                  |
| <b>第27回児湯内科医会<br/>学術講演会</b><br>10月2日(火)<br>19:10～20:10<br>ホテル四季亭              | <b>宮崎県における肝炎診療の現状と今後の課題(仮)</b><br>宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター<br>准教授 永田 賢治                                   | 8<br>(0.5)<br><br>27<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>児湯内科医会<br>◇共催<br>アッヴィ 合同会社<br>(連絡先)<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641                  |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>10月4日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                  | <b>長時間労働者の面接指導</b><br>産業保健相談員<br>宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治<br>生涯研修の実地研修会：2単位                                | 1<br>(0.5)<br><br>5<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                              |

| 名称・日時・場所                                                   | 演 題                                                                                                                                                                                                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                   | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                    |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 宮崎県警察医会特別講演会<br>10月6日(木)<br>15:30～17:00<br>県医師会館           | 内因性急死について<br>久留米大学医学部法医学講座 教授 神田 芳郎                                                                                                                                                                                                                  | 16<br>(0.5)<br><br>17<br>(0.5)<br><br>44<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県警察医会<br>(連絡先)<br>県医師会<br>☎0985-22-5118       |
| 第8回在宅医療実践のための多職種協働研修会<br>10月11日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館 | 退院カンファレンスから在宅看取りまでの28日間<br>ー多職種が集結すればここまでできるー<br>城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな<br>所長 長瀬 奈保美<br>看護師 細川 優子<br>クリニックうしたに<br>院長 牛谷 義秀<br>副院長 松崎 泰憲                                                                                                                   | 81<br>(1.0)                                                          | ◇主催<br>宮崎市郡在宅医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 |
| 平成30年度宮崎県小児科医会秋季学術講演会<br>10月14日(日)<br>14:00～17:00<br>県医師会館 | 小児在宅医療アンケート調査結果について<br>ゆげ小児科・弓削整形外科院長 弓削 昭彦<br>-----<br>災害時小児周産期リエゾンについて<br>ー大規模災害訓練に参加してー<br>宮崎県立宮崎病院 小児科部長 中谷 圭吾<br>-----<br>学校突然死ゼロに向けて<br>東京慈恵会医科大学救急医学講座<br>教授 武田 聡<br>-----<br>ホームにたどり着いた子どもの家族再統合への取り組み<br>自立援助ホーム「ウィング・オブ・ハート」<br>ホーム長 串間 範一 | 80<br>(0.5)<br><br>14<br>(0.5)<br><br>44<br>(1.0)<br><br>72<br>(1.0) | ◇主催<br>宮崎県小児科医会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-23-9100    |



| 名称・日時・場所                                                                                   | 演 題                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>10月18日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                              | <b>行動変容を起こすー交渉術ー</b><br>産業保健相談員<br>都城新生病院<br>前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(2.0)                                                                                          | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                      |
| <b>平成30年度かかり<br/>つけ医認知症対応<br/>力向上研修会(日<br/>医TV会議)</b><br>10月20日(土)<br>14:00～17:30<br>県医師会館 | <b>かかりつけ医の役割(仮)，他</b><br>野崎病院認知症疾患医療センター長 宇田川 充隆<br>他                | 4<br>(0.5)<br>5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)<br>13<br>(0.5)<br>19<br>(0.5)<br>29<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                               |
| <b>第59回 宮 崎 県 ス<br/>ポーツ学会</b><br>10月20日(土)<br>15:00～18:30<br>宮日会館<br>参加費：1,000円            | <b>MSIアプローチによる運動機能評価の実際</b><br>千葉メディカルセンター<br>リハビリテーション科 科長<br>鈴木 勝  | 11<br>(0.5)<br>19<br>(0.5)                                                                          | ◇主催<br>宮崎県スポーツ学会<br>◇共催<br>久光製薬株式会社<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎0985-85-0986 |
|                                                                                            | <b>スポーツ眼科</b><br>えだがわ眼科クリニック 院長<br>枝川 宏                              | 36<br>(0.5)<br>37<br>(0.5)                                                                          |                                                                                               |
|                                                                                            | <b>スポーツ傷害に対する診断，治療のピットフォール</b><br>東京慈恵会医科大学<br>整形外科科学講座 准教授<br>舟崎 裕記 | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5)                                                                          |                                                                                               |



| 名称・日時・場所                                                            | 演 題                                                                            | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                   |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>第180回宮崎県眼科医会講習会</b><br>10月20日(土)<br>16:10～18:20<br>宮崎観光ホテル       | <b>黄斑疾患の診断と治療</b><br>大分大学医学部眼科学講座 准教授 木 許 賢一                                   | 36<br>(1.0)                | ◇主催<br>※宮崎県眼科医会<br>☎0985-28-1015                                        |
|                                                                     | <b>点眼剤を創る時の話</b><br>大阪大谷大学薬学部医薬品開発学講座<br>教授 中田 雄一郎                             | 36<br>(1.0)                |                                                                         |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>10月26日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館            | <b>治療と職業生活の両立</b><br>宮崎大学医学部<br>患者支援センター長 鈴木 斎王<br>生涯研修の専門研修会：2単位              | 1<br>(0.5)                 | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                |
|                                                                     |                                                                                | 5<br>(0.5)                 |                                                                         |
|                                                                     |                                                                                | 7<br>(0.5)                 |                                                                         |
|                                                                     |                                                                                | 10<br>(0.5)                |                                                                         |
| <b>第46回宮崎大腸肛門疾患研究会(がん検診)</b><br>10月26日(金)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル | <b>大腸癌の治療(仮)</b><br>宮崎大学医学部附属病院<br>消化管・内分泌・小児外科 講師 池田 拓人                       | 53<br>(0.5)                | ◇主催<br>宮崎大腸肛門疾患研究会<br>◇共催<br>※協和発酵キリン(株)<br>☎0985-22-8801<br>ゼリア新薬工業(株) |
|                                                                     | <b>クローン病の肛門病変とその治療</b><br>東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター<br>医長 古川 聡美                   | 54<br>(0.5)<br>55<br>(0.5) |                                                                         |
| <b>宮崎県整形外科医会研修会</b><br>10月27日(土)<br>16:00～18:00<br>県医師会館            | <b>地域包括ケアシステムにおける<br/>整形外科医の役割と骨粗鬆症診療</b><br>国家公務員共済組合連合会 千早病院<br>整形外科部長 大石 正信 | 7<br>(1.0)                 | ◇主催<br>宮崎県整形外科医会<br>(連絡先)<br>県医師会<br>☎0985-22-5118                      |

| 名称・日時・場所                                                             | 演 題                                                                    | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                    |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月8日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館         | <b>健康診断結果に基づく事後措置の事例検討</b><br>産業保健相談員<br>宮崎県立看護大学 教授<br>生涯研修の現地研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月16日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館        | <b>職場における糖尿病対策</b><br>産業保健相談員<br>日南市立中部病院 副院長<br>生涯研修の専門研修会：2単位        | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎臨床リウマチ<br/>カンファレンス</b><br>11月16日(金)<br>19:00～20:20<br>ガーデンテラス宮崎 | <b>新時代の関節リウマチ治療</b><br>慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科<br>教授                      | 19<br>(0.5)<br>77<br>(0.5)                              | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※第一三共株式会社<br>☎0985-23-5710      |
| <b>第12回はまゆう整<br/>形外科セミナー</b><br>11月24日(土)<br>17:30～18:30<br>宮崎観光ホテル  | <b>手・手指骨折の外来診療<br/>ー機能障害予防のためのポイントー</b><br>くろき整形外科 院長                  | 57<br>(0.5)<br>72<br>(0.5)                              | ◇主催<br>※宮崎大学医学部整形外科教室同門会<br>☎0985-85-0986                |

## 診療メモ

## ドライアイについて

県立宮崎病院眼科 おぎののぶなが  
萩野展永

「ドライアイ」と聞いて、どのような症状を思い浮かべるでしょうか。「目が乾く」という症状がいちばんに思い起されるのではないかと思います。むしろ、それ以外に何か症状があるのだろうか、と思われる方も多いかもしれません。

眼科を受診される患者様の中には、「目がごろごろする、ころころする。逆まつげや目にゴミなどが入っているのではないか」「目が疲れる、重い感じがする」「目が痛い」「目の奥が痛い」「見え方がよくない」「TVや新聞などを見ていると見え方が悪くなってくる、かすんでくる」「目を開けていられない」などの自覚症状を訴える方がいらっしゃいます。実は診察すると、これらの症状はドライアイが原因であることがあります。

例えば、「見え方が悪い」と訴えのある方の場合、ドライアイかもしれないな、と予測したときは、「どのようなときに見え方が悪くなりますか」と聞くことにしています。「TVを見ているとき」「新聞などをみているとき」とお返事があれば、ドライアイを念頭に診察を勧めます。また、お仕事を尋ねることもあります。パソコン作業が多いデスクワークの方も、ドライアイである可能性があります。

この例はすべて、「何かものを見ているとき」にドライアイが生じていると考えられます。

実は、ものを見ているときは、見ていないときに比べて、まばたきの回数が減っているとのデータがあります。目が開きっぱなしになると目の表面が乾いてくる、というのは、なんとなくドライアイのイメージ通りなのではないでしょうか。

ドライアイの自覚症状はさまざまであることはお分かりいただけたと思います。では、そもそもドライアイとはどのような病態なのでしょう。

2016年にドライアイの診断基準が改正され、「1. 自覚症状」「2. 涙液層不安定化」この2つを満たせばドライアイと診断されるようになりました。

自覚症状は、前述した通り、目の感触や見え方に違和感がある場合、と言えると思います。

涙液層不安定化とは、どういうことでしょうか。涙液層とは、目の表面を覆っている涙のことです。涙が乾くことなく安定して目を覆った状態を保つことで、目の感触や見え方が良好な状態を保てます。目の表面から涙が減少したり失われると、ドライアイの自覚症状が出てきます。

涙液層は、角膜上皮細胞側から、粘液(ムチン)層、水層、油層の3層構造となっています。角結膜上皮細胞、杯細胞からはムチンが分泌され、

これが水層を維持します。また、涙液は涙腺から分泌されます。これらのいずれかに障害があると、涙液層は不安定化するのです。

涙液層不安定化は大きく2つのパターンに分類されます。「涙液減少型」は、涙液自体が少ない状態です。「BUT（涙液層破壊時間；涙液が眼表面に留まれなくなるまでの時間）短縮型」は、涙液量自体は少なくないものの、眼表面に涙を留めていられなかったり（水濡れ性低下）、すぐに蒸発してしまう（蒸発亢進型）状態です。こうした病態に基づいて、眼科では点眼処方を行っています。つまり、涙液のどの層に問題が生じているかによって、処方する点眼を選ぶのです。これを、TFOT（Tear Film Oriented Therapy）といいます。

涙液減少型の場合は、人工涙液、ヒアルロン酸ナトリウムといった点眼を処方することが多いと思います。これは、不足している涙液を補充するものです。

BUT短縮型の場合は、ジクアホソルナトリウムやレバミピドといった点眼を処方します。レバミピドは、内服薬でよく処方されるものと同一成分の点眼薬です。ジクアホソルナトリウムは、涙液自体に働きかけます。結膜上皮細胞の受容体を刺激し水層を増やし、結膜上皮からのムチン分泌を促進します。レバミピドは、ムチンを分泌する杯細胞を増加させます。

涙液層不安定化がどのパターンなのかを診断するには、眼科診察で用いる細隙灯顕微鏡やフルオレセイン染色といった、眼科専門の機器や薬品が必要となります。そのため、他科の先生方がTFOTに基づいた処方を行うのは難しいと思います。

ドライアイ症状のある方には、まずヒアルロン酸ナトリウムを処方してみるとよいと思います。1日4回から6回程度、点眼してもらうようにします。回数は自己調整していただいてもいいと思います。

それでも効果がない場合は、ジクアホソルナトリウム、レバミピドの順に処方してみます。ただしこれらの点眼薬は、症状改善効果を得るまでに2～3か月を要する場合があること、点眼のつけ心地が良くないと感じる場合があることに注意が必要です。処方の際、「つけ心地のよい点眼ではないが続けるうちに慣れてくるので、ドライアイ症状を改善させるためには2～3か月はしっかりと点眼を続けてください」としっかり説明しておく必要があります。

パソコン作業、TVや読書時などに生じるドライアイ症状については、点眼のほかに、意識的にまばたきをしていただき目の乾きを改善してもらうと、効果的なことも多いです。

また、コンタクトレンズ装用者のドライアイ症状の場合、点眼処方する場合は注意が必要です。点眼薬には防腐剤が入っているものとそうでないものがあります。コンタクトレンズを装用したまま点眼する場合、防腐剤が入っていないものが好ましいので、ジクアホソルナトリウムやレバミピドの点眼が適していると思います。

最近では、ドライアイに対するサプリメントもあり、一部の薬局では取り扱いがあるようです。点眼薬のみでは効果が不十分な方には、ご提案することもあります。

シェーグレン症候群など自己免疫性疾患に伴うドライアイは、点眼薬でのコントロールが非常に難しいと感じます。涙液は、目頭にある涙点という通り道から目の外にはけていくのですが、涙点プラグという道具で涙点を塞ぐ治療を行うと、涙液が目の表面に留まりやすくなり、症状改善を期待できます。保険適応で、外来で比較的すぐにできる治療です。

もちろん、ドライアイと似た自覚症状で、まったく異なる疾患の場合もありますので、点眼処方のみで症状改善がない場合などは、一度眼科を受診していただければと思います。

## 宮大医学部学生のパージ



## 上海交通大学 留学記

宮崎大学医学部医学科 3年 <sup>かわ</sup>川 <sup>ばた</sup>端 <sup>だい</sup>大 <sup>き</sup>幹

今年の7月2日～27日の4週間、3年生の研究室配属の一環で、中華人民共和国の上海交通大学にて様々な体験をさせていただきましたので、ご報告いたします。

私の留学体験は、中国医療の混沌とした環境に、体当たりで突っ込んでいくような一面がありました。いろいろな場面で、中国の医療機関の特殊な状況を目の当たりにしました。

私がこの留学で臨床見学させていただいたのは、上海交通大学附属の第九人民医院です。この第九人民医院は、三級甲等医院という中国で最も高度な医療施設に分類されます。規模も大きく、職員数は宮崎大学附属病院の約三倍で、患者さんも驚くほど多く、病院内はどこもかしこも患者さんで溢れていました。そして多くの患者さんが、セルフ・サービスの複雑な手続きを前に混乱されていました。私が白衣を着て待合室に立つと、瞬時に私の前に質問したい患者さんの行列ができたほどです。もちろん私は、ほとんど中国語が話せません。多すぎる患者さんに対処するためか、医師の診察室の扉はいつも開いており、部屋の中には、診察中の患者さんに加え、その次の順番の方、更にその次の方までもいるという状態でした。ですから、プライバシーは全くと言っていいほどありません。また当然、一人ひとりの患者さんの診察時間はとても短く、その短い診察時間に、医師と患者さんが怒鳴りあっているように見えることもありました。文化的な違いなのでしょうが、最後まで慣れませんでした。一方で病棟は、まるで野戦病院のようで、廊下にまで患者さんのベッドがずらりと並んでいました。

このように、患者さんにとって快適とはいえない病院ですが、裕福な患者さんには別の道が用意されています。一般の十倍以上のお金を支払えば、広い診察室で、ベテランの医師に、時間をかけて診察してもらえるのです。少し意地悪に見れば、中国の格差社会の縮図なのかもしれません。

患者さんとのコミュニケーションに十分な時間が割けないからか、しばしばトラブルが発生します。その上、医療訴訟が十分に普及していないため、患者さんの怒りは暴力・暴言という形で噴出しがちで、医師はそれに怯えています。ある患者さんは、病院内で何時間も泣き叫びながら、医師を糾弾する大演説をされていました。

そんな病院での私の臨床見学は、混沌としたスタートを切りました。私の配属先で、留学生を担当する医師が、中国語だけを話す先生だったのです。先生は、私が中国語をほとんど話せないことに、困惑されたご様子でした。私も準備の段階で英語とわずかながらの中国語は勉強しておりましたが、少し困りました。しかし、たまたま英語の流暢な先生が近くにおられ、助けていただきました。さらにこの先生は、ご友人の別の先生も紹介してくださいました。そこから続く紹介の連鎖によって、多種多様な専門をもつ先生方のお仕事を拝見しました。どの先生方も懐がとても深く、やる気さえあれば何でも見せてくださいます。手術の介助に入ったときは、自分の心臓の音が聞こえるくらい緊張しました。中国医療の最前線に触れることができ、臨床科目への学習意欲が格段と高まりました。また、おかげで内向きの性格が随分と鍛えられたように思います。

とくに形成外科は、第九人民医院が中国におけるメッカでした。中国全土から派遣されてくる形成外科の先生方は、早朝から深夜まで現場に張りついています。そんな先生方が患者さんの病態や手術手技のすべてを目に焼きつけようとする姿勢は、私にとって強烈な刺激となりました。

こうした私の充実した留学体験は、第九人民医院の皆様のご厚意なくして成り立ちませんでした。先生方はお忙しい中、ご存じない英単語はスマートフォンで調べながら丁寧に説明してくださいます。また、あるお世話になった先生の誕生日会に呼んでいただいた時のことです。先生は私に、白いケーキを渡して下さり、「このケーキのような真っ白な未来に日中友好の架け橋を描いてほしい」とおっしゃいました。私は胸が熱くなり、言葉が出ませんでした。

留学を充実したものにするのは、顔の見える個人と個人のつながりなのだと感じました。今後は、上海から宮崎大学に来られる留学生の方にむけて、精一杯の恩返しがしたいです。加えて、これから上海に行かれる方の留学を少しでも良いものにするために、全力を尽くしたいと思っています。

最後になりましたが、留学を通して、宮崎大学の先生方、学生支援課の職員の皆様、そして派遣先の皆様に、多大なるご支援を賜りましたこと、深謝申し上げます。この留学の経験を活かし、これまで以上に精進してまいりますので、今後とも何とぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)にお問い合わせください。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

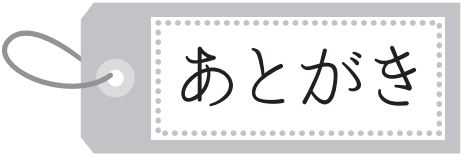
| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量に関わらず厚生労働省の確認を必要とする医薬品の追加について</li> <li>・トファシチニブクエン酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について</li> <li>・抗PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤(オプジーボ点滴静注)に係る最適使用推進ガイドライン(悪性黒色腫)の一部改正に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> <li>・ボトックス注用の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について</li> </ul>                                                                                                                                               |
| 6 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度介護報酬改定に係る告示、通知等のご案内について</li> <li>・「平成27年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成29年度調査)の結果について(最終版・情報提供)」の送付について</li> <li>・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について</li> <li>・「介護支援専門員実務研修受講試験の実施について」の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                         |
| 6 月11日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度県立学校医等に係る報酬基準額について</li> <li>・第2回『薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰』の取組事例の厚生労働大臣表彰の募集について</li> <li>・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について</li> <li>・「特定接種管理システム」変更申請の期日について</li> <li>・東京都受動喫煙防止条例(仮称)に関する賛同署名終了のご報告と御礼</li> <li>・不妊に悩む方への特定治療支援事業に関するパンフレットについて</li> <li>・医療機器の添付文書の記載例について(その8)</li> <li>・平成30年度版 死亡診断書(死体検案書)記入マニュアルについて</li> <li>・材料価格基準の一部改正等について</li> <li>・指定難病の更新申請時における臨床調査個人票作成のご協力について</li> <li>・高額療養費制度の見直しの周知用ポスターの送付について</li> </ul> |
| 6 月12日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会～症例から適正使用を学ぶ～」の開催について</li> <li>・循環器疾患の患者に対する緩和ケア提供体制のあり方について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 6 月13日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済組合員証の無効通知について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 6 月15日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律等の施行について</li> <li>・平成30年度第3回看護師特定行為研修指導者講習会(熊本会場)の開催案内について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6 月18日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度母体保護法指定医師更新前講習会(母体保護法指定医師研修会)の開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 6 月19日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会共同利用施設の設定状況等(2017年4月1日現在)の掲載について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 月20日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・数量に関わらず厚生労働省の確認を必要とする医薬品の追加について</li> <li>・予防接種・感染症危機管理対策委員会「安全安心な予防接種推進のための全国医師会調査2018」実施報告書について</li> <li>・鳥インフルエンザA (H7N9)に関する情報提供について</li> <li>・平成29年度「ワクチン価格調査」報告書について</li> <li>・平成30年度訪問看護ステーション等基盤強化事業費補助金について</li> </ul>                                     |
| 6 月21日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故の再発防止に向けた提言第4号の公表について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 6 月22日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年大阪府北部を震源とする地震による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・平成29年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況について</li> <li>・平成30年度公益財団法人日本学校保健会特別セミナー「子供の睡眠と健康2018」講習会の開催について</li> <li>・平成30年度文部科学省補助事業アレルギー講習会(学校における普及啓発講習会)の開催について</li> <li>・平成30年度文部科学省補助事業「自信をもって取り組める医薬品の教育」研修会の開催について</li> <li>・市町村における胃内視鏡検診体制に関するアンケート調査について</li> </ul> |
| 6 月26日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について</li> <li>・「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に係る事業者団体の取組における独占禁止法上の留意点に関する質疑応答集(Q&amp;A集)について</li> <li>・平成30年大阪府北部を震源とする地震により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li> <li>・地域医療介護総合確保基金(医療分)の活用に当たっての地域医療構想調整会議への協議について</li> </ul>                                                                    |
| 6 月27日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の施行について</li> <li>・「身体障害者障害程度等級表の解説(身体障害認定基準)について」等の一部改正について</li> <li>・国立国際医療研究センター病院AMR臨床リファレンスセンター作成 薬剤耐性(AMR)対策啓発資料の周知と活用について</li> <li>・平成30年大阪府北部を震源とする地震による災害に伴う予防接種の取扱いについて</li> <li>・平成30年度文部科学省補助事業就学時の健康診断研修会の開催について</li> <li>・平成30年度(第52回)臨床検査精度管理調査の実施について</li> </ul>                           |
| 6 月28日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について</li> <li>・偽装ナンバーディスプレイを用い厚生局職員を装った不審電話と思われる事案について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 6 月29日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・結核研修派遣事業について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 7 月 4 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険における利用者負担割合の見直しの内容の周知について</li> <li>・病院が有する非常用電源に係る保安調査の実施の徹底について</li> <li>・地域医療構想調整会議の活性化に向けた方策について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 7 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構の一般診療所(無床)等への融資基準となる平成30年度診療所数調について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 7 月10日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について</li> <li>・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について</li> <li>・平成28年熊本地震に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について</li> </ul>                                                                                                                                                               |



| 送付日    | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 月11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度食生活改善普及運動の実施について</li> <li>・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について</li> <li>・平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 7 月12日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故調査制度の普及・啓発に関する協力依頼について</li> <li>・画像診断報告書等の確認不足に関する医療安全対策について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7 月13日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・四段階税制(社会保険診療報酬の所得計算の特例措置)存続のための調査について</li> <li>・宮崎県委託事業 多職種連携教育コーディネーター「ごちゃまぜ師」養成講座の開催について</li> <li>・病院等の人員及び施設の基準等に関する条例の一部を改正する条例の施行について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> <li>・医療法施行細則(平成18年宮崎県規則第50号)の一部を改正する規則について</li> <li>・官報掲載事項の一部訂正について</li> <li>・看護師の特定行為研修に関する説明会の開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 7 月17日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律について(介護支援専門員関係)</li> <li>・「介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令」の公布等について</li> <li>・平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨による被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて</li> <li>・平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨による被災に伴う療養の給付費等の書面による請求について</li> <li>・平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・NBCR対策推進機構 第5回「爆発物災害対策担当者養成講習会」の開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7 月19日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公害健康被害の補償等に関する法律施行規則等の一部改正について」等の送付について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について</li> <li>・告知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について</li> <li>・平成30年7月豪雨による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて</li> <li>・平成30年7月豪雨による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その2)</li> <li>・平成30年7月豪雨による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その3)</li> <li>・平成30年7月豪雨による被災者の「公害健康被害の補償等に関する法律」「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」「石棉による健康被害の救済に関する法律」等に係る公費負担医療等の取扱いについて</li> <li>・平成30年7月豪雨による被災者に係る妊産婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱い他について</li> <li>・「肝炎医療ナビゲーションシステム」の運用開始について</li> <li>・平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨による被災に関する労災診療費等の請求の取扱いについて</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について</li> <li>・平成30年7月豪雨により被災した要介護高齢者等への対応について</li> <li>・平成30年7月豪雨に伴い避難先市町村の地域密着型(介護予防)サービスを利用する場合の手続について</li> <li>・平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて</li> <li>・平成30年7月豪雨に伴う介護サービス事業所の人員基準等の取扱いについて</li> <li>・「医療機関における障害者への合理的配慮 事例集」の周知啓発について</li> <li>・高齢者、障害者等の災害時要配慮者への緊急的対応及び職員の応援確保について</li> </ul> |

| 送付日    | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 月20日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・委託元保険者情報変更一覧(平成30年 4 月変更分)</li><li>・平成30年 7 月豪雨による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その 4)</li><li>・平成30年 7 月豪雨による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その 5)</li><li>・災害時の母子保健対策に関するマニュアル等について</li><li>・「学校における医療的ケアの実施に関する検討会議の中間まとめについて(通知)」の送付について</li><li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li><li>・平成30年 7 月豪雨により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li><li>・平成30年 7 月豪雨に関する災害における介護報酬等の取扱いについて</li><li>・平成30年 7 月豪雨に対し社会福祉法人が寄付金(義援金)を支出することについての特例について</li><li>・平成30年 7 月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて</li><li>・平成30年 7 月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その 2)</li><li>・平成30年 7 月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その 3)</li><li>・平成30年 7 月豪雨による被害に遭われた方を受け入れた施設等への周知について</li><li>・平成30年 7 月豪雨により被災した高齢の要援護者への対応及びこれに伴う特例措置等について</li><li>・地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化等について</li></ul> |
| 7 月23日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年台風 7 号及び前線等に伴う大雨による災害に伴う予防接種の取扱いについて</li><li>・ダニ媒介感染症及び蚊媒介感染症の予防啓発に関する協力依頼について</li><li>・「医師法第16条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」の一部改正について</li><li>・平成30年 7 月豪雨による社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣に係る費用の取扱いについて</li><li>・平成30年 7 月豪雨により指定居宅サービス事業所等が福祉避難所として開設された場合の取扱いについて</li><li>・平成30年 7 月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その 4 および 5)</li><li>・平成30年 7 月豪雨に伴う診療録等の文書の保存に係る取扱いについて</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 7 月24日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出及び挿入後の線源の取扱いについて</li><li>・宮崎大学医学部附属病院膠原病・感染症内科の初診予約導入について</li><li>・2018年度 認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)【西日本会場】のご案内</li><li>・「腎疾患対策検討会報告書～腎疾患対策の更なる推進を目指して～」について</li><li>・平成30年度宮崎県認知症疾患医療センター指定医療機関の募集に関する御協力について</li><li>・平成30年毎月勤労統計調査特別調査への調査協力依頼について</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 7 月25日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・「薬局における医薬品・医療機器等安全性情報報告制度への取組みについて(実施手順等の作成のための手引き)」の周知について</li><li>・医療機関・福祉施設における優生手術に関する個人記録の保有状況の調査について</li><li>・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の実務上の取り扱いについて</li><li>・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の医療機関向け説明会について</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 7 月27日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について</li><li>・毎月勤労統計調査(第二種事業所)への調査協力依頼について</li><li>・医療事故情報収集等事業第53回報告書の送付について</li><li>・平成30年 7 月豪雨に伴う医療法等に係る取扱いについて</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |



# あとかき



今年も自然災害の多さにびっくりします。地震、台風、大雨・水害など、想定外のことがばっかりです。自院も低い土地にあり、過去3回大雨の時浸水したことがあります。少しでしたが、後片付けは大変でした。人海戦術で水と泥をかき出して、拭き上げて、乾燥させてと、その都度まる1日かかりました。激しかった時はコン

ピュータや顕微鏡のコードの途中の黒い小さな箱が水に浸かってダメになりました。電動ベッドや无影灯も下の方に基盤があるのでしょうか、これもダメになりました。今は院内でも高い所に上げられるものは上げるようにしています。物や出費の被害も痛いのですが、気持ちにもだいぶこたえました。そういう時に手伝いに来てくれる人がいました。とてもうれしかったです。先の豪雨で被災され、まだ片付けの途中の様子をテレビで見ますが、相当大変だろうと思います。自分がボランティアで行くのは無理ですが、遠くから応援しています。

日本のみならず、世界的にも異常気象が多発しているようです。これは何から来ているのでしょうか？人間の行き過ぎた経済・工業活動の影響なのでしょう？地球という惑星の自然な流れの中でのたまたまの状態なのでしょう？いろいろ説もあるようですがはっきりしません。ゴミ問題やプラスチックによる海洋汚染などは明らかに人為的要素が強いので、地球にやさしい生活を心がけたいと思います。まずは車を減らして歩くことから手をつけます。

(西田)

\* \* \*

お盆休みは、久しぶりに広島に帰省しました。施設に入所している母と会って、恒例のババ抜き大会を開催しました。88歳の母ですが、ちゃんと合っているものも分かっていて、どんどんトランプが減ってくると「ほら、またおうた！」と喜んでいました。しかし、ババがやってきた時には、「鬼がきたけど、どうすりゃあええん？」と言って、みんなを大爆笑させたり、まともなのかそうでないのか。まともな私？は、そんな母にババ抜きで負けてしまいました。(泣) (野村)

\* \* \*

考えてみれば、今年は平成最後の夏でした。最高気温が40度を越えた地域もあり、いつまでこの暑さが続くのだろうかと思っていたら、今度は台風。現時点で、すでに台風20号まで発生しており、今年は一体何号まで発生するのか気になるところです。気候が不安定だと、生鮮食料品の値段も不安定で、買い物に行くと、全体的に高く感じます。早く、透き通った青空が広がる秋の空になって欲しいと思う今日この頃です。

(上山)

\* \* \*

先日、西日本医科学学生総合体育大会に参加するため、三重県の四日市市に行ってきました。試合の結果はあまりよくありませんでしたが、初めての三重県で、いろいろおいしいものを食べたり遊んだりして、楽しい旅となりました。試合終了の翌日に長島スパーランドという有名な遊園地に行ったのですが、スリルのあるアトラクションがたくさんあって、絶叫好きの自分に

としてはとても楽しい場所でした。また機会があればぜひ行きたいなと思います。

(二見)

\* \* \*

先日、元陸上部の研修医2年目の先輩と6年生の先輩3人と私の5人で、飲みに行きました。久々にお会いした研修医の先輩から、研修医の1日の生活や後期研修のお話など、たくさんの興味深い話をお聞きしました。ネットで研修医の生活を調べるよりも、頼れる先輩からのお話の方が何百倍もためになりました。6年生の先輩からは、実習や卒業試験のお話をお聞きしました。私からは、今の陸上部の現状をお伝えすることくらいしかできませんでしたが、卒業、引退されてからもご飯に誘っていただいて、たくさんの貴重なお話やくだらない話で盛り上がるのができて楽しかったです。

(土持)

\* \* \*

先日、平成30年度の女性医師保育サポーターの養成講座を行いました。今回も元気で明るく子ども好きの方々が受講してくださいました。子育てしながらも仕事を続けたいという女性医師の立場について理解いただいた上で、保育を支援して下さるサポーターさんたちの存在がどんなに心強いことか。子育て中の女性医師は戦力にならないからとクローズな場で入学を制限するのはなく、どうすれば出産しても仕事を続けられるのかをオープンな場で議論していくことが必要だと思います。

(荒木)

\* \* \*



## 今月のトピックス

### 宮大医学部学生のページ 上海交通大学 留学記

宮崎大学医学部医学科3年生の川端大幹さんの中国留学体験記です。病院という小さな組織の中で、中国の縮図までも読み取った川端さんの感情が如実に伝わってきます。国や文化が違えども、人と人のつながりに大切なものを私達にも教えてくれています。やはり新しい経験は人を成長させてくれるようです。 72ページ

### 日州医談 ベンゾジアゼピン系薬剤の長期処方は罪悪か？

ここ数年の診療報酬改定でも向精神薬の多剤長期処方について処方料・処方せん料が減点されてきましたが、今回はさらに一歩踏み込んだ改定が行われ、ベンゾジアゼピン系薬剤を長期間投与する場合は、減算されることになりました。この改定の背景には、処方の長期化と多剤併用による依存性の問題から安易な長期処方や多剤併用を回避することにあるようです。しかし、精神科のある病院だけが使っている薬剤ではなく、普通の内科でも処方することから、多くの医療機関が対応に苦慮するものと予想されます。その対応策を、臨床現場の立場から、山村善教副会長が私見を交えながら詳しくご説明していただきました。 4ページ

### 診療メモ ドライアイについて

高齢化、エアコンの使用、パソコンやスマートフォンの使用、コンタクトレンズ装用者の増加に伴い、ドライアイ患者さんも増えており、その数は2,200万人ともいわれています。「目が疲れる」といったよくある症状も、もしかするとドライアイかもしれません。

今回、ドライアイについて、県立宮崎病院 眼科 萩野展永先生に詳しく解説していただきました。目の表面に傷を伴うこともあることから、「たかが疲れ目なんて・・・」と自己判断せずに、先生のアドバイスをもとに、一度眼科の診察を受けてはいかがでしょう。 70ページ

## 日 州 医 事 第829号(平成30年 9 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副 委 員 長 稲倉 琢也、野村 勝政  
委 員 沖田 和久、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一  
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香  
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)